

平成 31 年度

企業局の概要



宮城県企業局

表 紙

左上：竹林水管橋耐震補強工事（大崎広域水道）

右上：高区・低区連絡管整備工事（仙南・仙塩広域水道）

左下：仙台港クルーズ船アクセス列車 みのり号（地域整備）

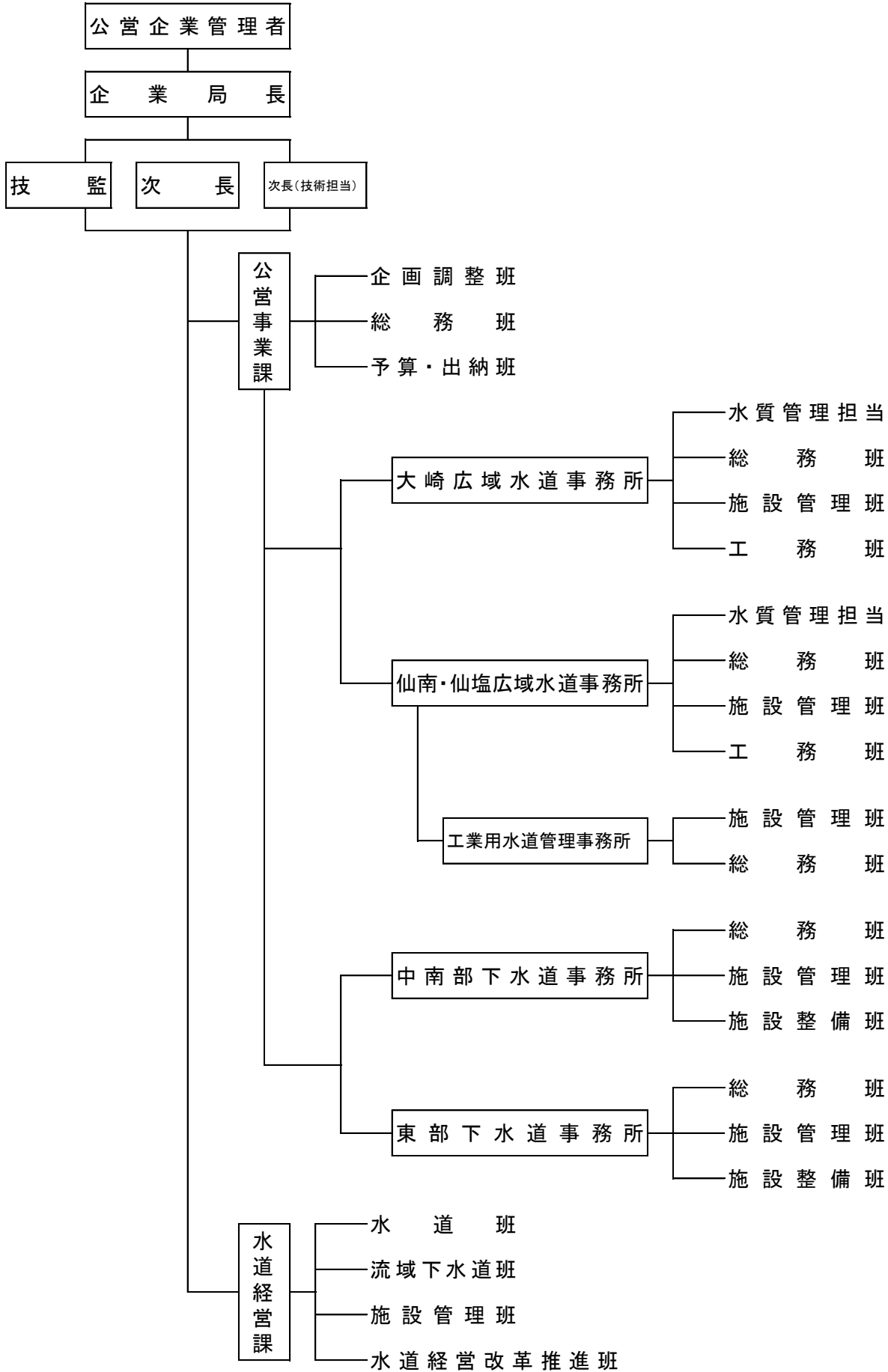
右下：仙塩浄化センター（仙塩流域下水道）

目 次

I	企業局の組織	1
1	組織図	1
2	職員数一覧表	2
3	所在地	2
4	分掌事務	3
II	平成31年度予算の概要	4
III	事業の概要	6
1	水道用水供給事業	7
(1)	大崎広域水道事業	7
(2)	仙南・仙塩広域水道事業	12
2	工業用水道事業	20
(1)	仙塩工業用水道事業	20
(2)	仙台圏工業用水道事業	25
(3)	仙台北部工業用水道事業	30
(4)	仙南工業用水道事業(仮称)	35
3	地域整備事業	36
4	流域下水道事業	39
(1)	仙塩流域下水道事業	39
(2)	阿武隈川下流流域下水道事業	46
(3)	鳴瀬川流域下水道事業	52
(4)	吉田川流域下水道事業	58
(5)	北上川下流流域下水道事業	64
(6)	北上川下流東部流域下水道事業	70
(7)	迫川流域下水道事業	76

I 企業局の組織

1 組織図(平成31年4月1日現在)



2 職員数一覧

(平成31年4月1日現在)

課所名	区分	事務	技術	労務	併任	合計
公営事業課		16(－)	2(－)		[20]	18(－)
水道経営課		13(－)	11(－)			24(－)
本局計		29(－)	13(－)		[20]	42(－)
大崎広域水道事務所		4(－)	14(－)	1(－)		19(－)
仙南・仙塩広域水道事務所		5(1)	22(－)	1(1)		28(2)
中南部下水道事務所		4(1)	15(1)			19(2)
東部下水道事務所		4(－)	14(1)			18(1)
地方機関計		17(2)	65(2)	2(1)		84(5)
合計		46(2)	78(2)	2(1)	[20]	126(5)

※1 公営企業管理者を除く職員数を計上しています。局次長は公営事業課に含めています。

※2 ()内の数字は再任用職員数で、外書きで計上しています。

3 所在地

課所名	郵便番号	所在地	電話番号
(本局)			
公営事業課	〒980-8570	仙台市青葉区本町三丁目8番1号	022 - 211 - 3413
水道経営課	〃	〃	022 - 211 - 3417
(地方機関)			
大崎広域水道事務所	〒981-4354	加美郡加美町字麓山1番地の9	0229 - 67 - 6512
仙南・仙塩広域水道事務所	〒989-0232	白石市福岡長袋字南部山7番地の1号	0224 - 25 - 8890
(工業用水道管理事務所)	〒983-0835	仙台市宮城野区大槻1番6号	022 - 293 - 5101
中南部下水道事務所	〒985-0832	多賀城市大代六丁目4-1	022 - 367 - 4001
東部下水道事務所	〒986-0861	石巻市蛇田字新ノ切5-2	0225 - 23 - 7381

4 分掌事務

(1) 本局

区 分	分 掌 事 務
公 営 事 業 課	1 事業の総合的企画, 調整及び管理に関すること。 2 震災復興計画に関すること。 3 広報及び広聴に関すること。 4 公印の管理に関すること。 5 成案文書の審査並びに文書の收受, 発送, 編纂及び保存に関すること。 6 管理規程等の制定及び改廃に関すること。 7 局の組織及び職員の定数に関すること。 8 職員の任免, 分限, 懲戒その他の身分取扱に関すること。 9 給与, 勤務時間その他の勤務条件, 研修及び福利厚生に関すること。 10 職員の表彰に関すること。 11 予算の原案の作成及び予算の執行計画に関すること。 12 事業の資金計画及び財務計画に関すること。 13 資産の取得, 管理及び処分に係る事務の総括並びに議決事件の議案に関すること。 14 決算の調製並びに業務状況及び計理状況の報告に関すること。 15 経理事務その他出納事務に関すること。 16 会計事務の指導に関すること。 17 工事の検査に関すること。 18 有価証券及び担保物の出納, 保管に関すること。 19 出納検査に関すること。 20 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。 21 地域整備事業に係る経営の基本計画に関すること。 22 地域整備事業に係る施設の整備及び資産の運用に関すること。 23 地域整備事業に係る貸付に関すること。 24 地方機関に関すること。 25 その他室の分掌に属しない事務の調整に関すること。
水 道 経 営 課	1 広域水道用水供給事業の経営の基本計画に関すること。 2 広域水道用水供給事業の用水供給に関すること。 3 工業用水道事業の経営の基本計画に関すること。 4 工業用水道事業の用水供給に関すること。 5 流域下水道事業の経営の基本計画に関すること。 6 流域下水道事業の下水処理に関すること。 7 局内において施行する工事並びに技術管理・指導に関すること。 8 水道経営改革に関すること。

(2) 地方機関

区 分	分 掌 事 務
大 崎 広 域 水 道 事 務 所	大崎広域水道及び仙台北部工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
仙 南 ・ 仙 塩 広 域 水 道 事 務 所	仙南・仙塩広域水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
工 業 用 水 道 事 務 所	仙塩工業用水道及び仙台圏工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
中 南 部 下 水 道 事 務 所	仙塩, 阿武隈川下流, 鳴瀬川及び吉田川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。
東 部 下 水 道 事 務 所	北上川下流, 北上川下流東部及び迫川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。

II 平成 31 年度予算の概要

1 収益的収支予算

企業局所管 4 事業会計の収益的収支予算のうち、収益的収入は 342 億 9 千 9 百余万円の前年度より 159 億 3 千 7 百余万円の増（+86.8%）、収益的支出は 299 億 8 千 4 百余万円の前年度より 155 億 3 千余万円の増（+107.4%）、収支差額は 43 億 1 千 4 百余万円の黒字で黒字幅は前年度より 4 億 7 百余万円の増となっています。

なお、今年度から一般会計より流域下水道事業が移管したことに伴う皆増が増額要因となっています。

2 資本的収支予算

資本的収入は 70 億 9 百余万円の前年度より 46 億 1 千 9 百余万円の増（+193.3%）、資本的支出は 177 億 7 千 6 百余万円の前年度より 53 億 1 千 6 百余万円の増（+42.7%）、収支差額は△107 億 6 千 6 百余万円で、資本的収入が資本的支出に対して不足する額が前年度より 6 億 9 千 6 百余万円の増となっています。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 107 億 6 千 6 百余万円は、過年度損益勘定留保資金等で補てんすることとしています。

資本的収支につきましても、今年度から一般会計より流域下水道事業が移管したことに伴う皆増が増額要因となっています。

平成31年度 企業会計予算一覧表（当初予算）

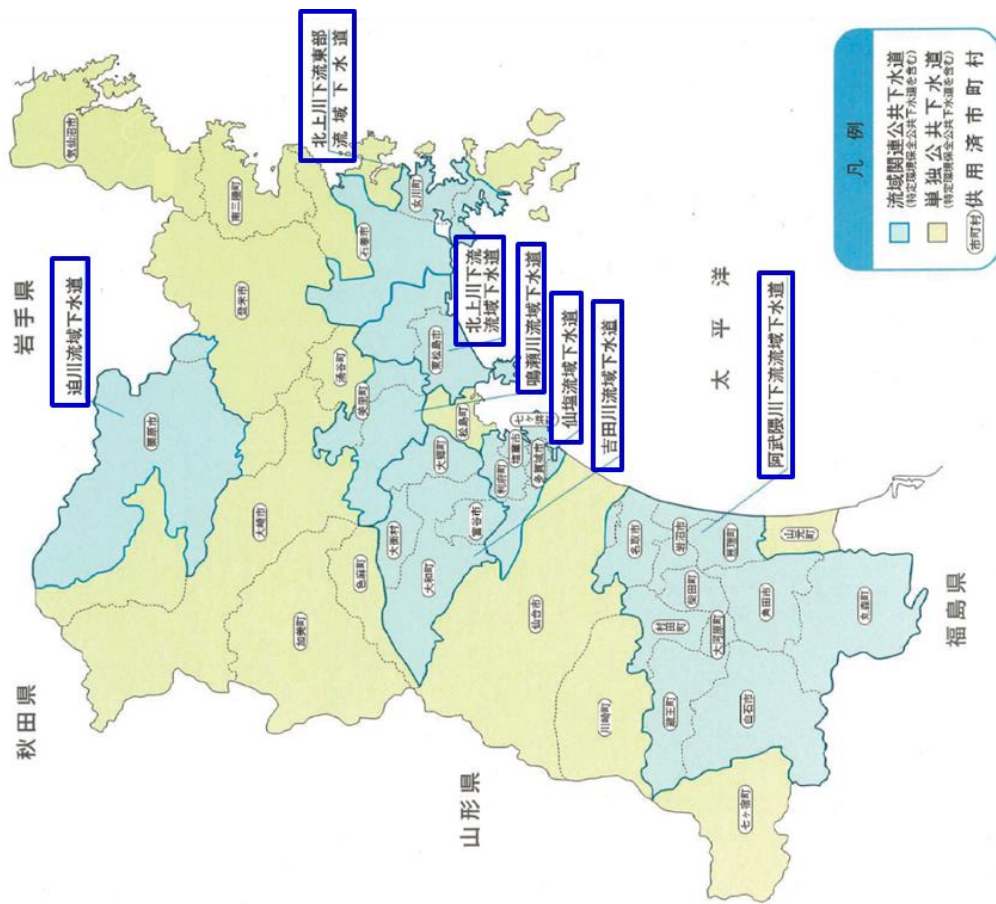
（税込、単位：千円）

収 入	水道用水供給事業				工業用水道事業				流域下水道事業						地域整備	合計			
	大崎	仙南・仙塩		計	仙塩	仙台圏	仙台北部	仙南	計	仙塩	阿武隈	鳴瀬川	吉田川	北上川			北上川東部	迫川	計
		仙南	仙塩																
営業収益	3,193,109	11,639,818	14,832,927	593,455	593,714	490,882	0	1,673,051	1,580,696	1,534,588	198,695	518,964	565,874	544,839	317,285	5,260,941	515,033	22,286,952	
料金収入	3,096,491	11,597,068	14,693,559	593,053	489,814	490,882	0	1,573,749	1,580,696	1,534,588	198,695	518,964	565,874	544,839	317,285	5,260,941	463,843	21,992,092	
その他	96,618	42,750	139,368	402	103,900	0	0	104,302	0	0	0	0	0	0	0	0	51,190	294,860	
営業外収益	172,164	1,075,135	1,247,299	155,226	49,099	69,517	3,179	277,021	2,398,386	3,241,073	582,716	903,116	998,529	1,318,035	1,045,886	10,487,741	700	12,012,761	
他会計補助金	37	1,118	1,155	0	0	0	0	3,179	403,661	524,574	148,381	252,453	415,452	267,447	353,066	2,365,064	0	2,369,398	
その他	172,127	1,074,017	1,246,144	155,226	49,099	69,517	0	273,842	1,994,725	2,716,499	434,335	650,663	583,077	1,050,588	692,790	8,122,677	700	9,643,363	
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(A)	3,365,273	12,714,953	16,080,226	748,681	642,813	560,399	3,179	1,955,072	3,979,082	4,775,661	781,411	1,422,080	1,564,403	1,862,874	1,363,171	15,748,682	515,733	34,299,713	
営業費用	2,675,526	8,056,472	10,731,998	665,077	526,743	445,055	0	1,636,875	3,789,956	4,491,304	674,388	1,302,090	1,250,198	1,788,546	1,199,824	14,496,306	304,962	27,170,141	
営業外費用	280,877	1,408,459	1,689,336	62,682	41,266	88,699	14	192,661	117,797	106,931	50,465	38,259	87,038	54,588	61,563	516,641	2,110	2,400,748	
特別損失	8,857	260,271	269,128	0	0	0	0	0	13,610	21,099	606	16,883	70,969	7,968	1,768	132,903	0	402,031	
予備費	1,500	6,000	7,500	500	500	300	0	1,300	623	688	262	510	357	365	191	2,996	0	11,796	
計(B)	2,966,760	9,731,202	12,697,962	728,259	568,509	534,054	14	1,830,836	3,921,986	4,620,022	725,721	1,357,742	1,408,562	1,851,467	1,263,346	15,148,846	307,072	29,984,716	
差引当年度損益(A)-(B)	398,513	2,983,751	3,382,264	20,422	74,304	26,345	3,165	124,236	57,096	155,639	55,690	64,338	155,841	11,407	99,825	599,836	208,661	4,314,997	
企業債	330,500	1,090,000	1,420,500	32,100	108,400	0	0	140,500	112,800	162,400	30,000	90,600	127,400	146,900	31,700	701,800	0	2,262,800	
他会計長期借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	172,344	172,943	172,942	172,943	172,943	172,942	172,943	1,210,000	0	1,210,000	
出資金	17,956	43,035	60,991	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60,991	
国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	238,247	258,582	4,878	150,745	286,303	196,517	9,123	1,124,375	0	1,124,375	
他会計補助金	13,219	27,316	40,535	0	0	715,150	0	715,150	283,621	9,217	2,193	3,233	3,360	69,378	5,622	376,624	0	1,132,309	
固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
諸収入・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
工事負担金	0	0	0	0	0	16,428	0	86,428	74,678	131,275	30,707	52,949	103,759	430,698	10,321	834,387	6,394	927,209	
他会計貸付金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	292,064	
計(C)	361,675	1,160,351	1,522,026	102,100	108,400	731,578	0	942,078	881,690	734,397	240,720	470,470	673,765	1,016,435	229,709	4,247,186	298,458	7,009,748	
建設改良費	1,081,729	4,030,566	5,112,295	127,174	227,242	934,548	0	1,288,964	684,959	534,454	41,837	271,777	476,291	816,552	30,985	2,856,855	13,005	9,271,119	
企業債償還金	631,042	4,163,440	4,794,482	65,151	274	0	3,169	68,594	268,664	418,907	125,379	238,434	323,682	218,520	306,635	1,900,221	0	6,763,297	
長期貸付金償還金	0	463,601	463,601	34,849	0	33,478	0	68,327	0	0	0	0	0	0	0	0	0	531,928	
長期貸付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,210,000	
国庫補助金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般会計繰出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(D)	1,712,771	8,667,607	10,370,378	227,174	227,516	968,026	3,169	1,425,885	953,623	953,361	167,216	510,211	799,973	1,035,072	337,620	4,757,076	1,223,005	17,776,844	
差引補填財源(C)-(D)	△1,351,096	△7,497,256	△8,848,352	△125,074	△119,116	△236,448	△3,169	△483,807	△71,933	△218,964	73,504	△39,741	△126,208	△18,637	△107,911	△509,890	△924,517	△10,766,696	

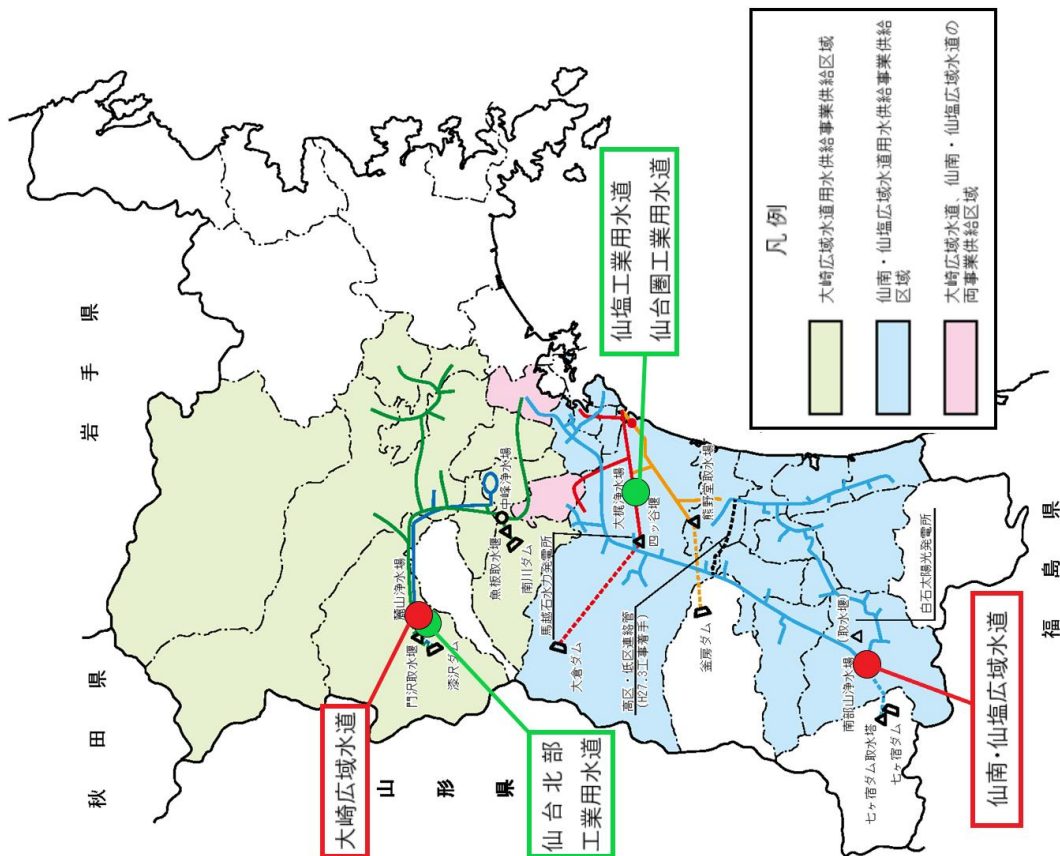
III 事業の概要

企業局事業概要図

流域下水道事業



水道用水供給事業・工業用水道事業



1 水道用水供給事業

本県が実施する水道用水供給事業は、主に大崎地方を中心とする地域の水道用水の需要に対応するため建設された「大崎広域水道」と仙南及び仙塩地域の水道用水の需要に対応するため建設された「仙南・仙塩広域水道」があります。

(1) 大崎広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、漆沢ダム及び南川ダムを水源とする2系統の浄水場から、大崎地方を中心とする10市町村に対し、一日最大120,000 m³の水道用水を供給するものです。

昭和48年度から建設工事に着手した漆沢ダム系については、昭和55年度から給水を開始し、現在は、一日最大82,300 m³の給水が可能となっています。

また、昭和58年度から建設工事に着工した南川ダム系については、平成6年度に第一期工事が完成(平成7年度から給水開始)し、現在は、一日最大18,850 m³の給水が可能となっています。

● 平成31年度の業務予定量

給水市町村数	3市6町1村
年間総給水量	22,047,840 m ³
一日平均給水量	60,240 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
漆沢ダム水系	88,500 m ³	82,300 m ³	鳴瀬川表流水(漆沢ダム)
南川ダム水系	40,000 m ³	37,700 m ³	吉田川表流水(南川ダム)
計	128,500 m ³	120,000 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量) (単位: m³/日)

市町村名	給水量	市町村名	給水量
大崎市	46,300	大和町	23,500
栗原市	3,400	大郷町	3,000
富谷市	9,900	松島町	4,000
加美町	7,000	大衡村	6,500
涌谷町	8,800	計	120,000
美里町	7,600		

● 給水計画

漆沢系	昭和55年4月(給水開始)	41,150 m ³ /日
	昭和58年4月	82,300 m ³ /日
南川系	平成7年4月(給水開始)	18,850 m ³ /日
	水需要により対応	18,850 m ³ /日

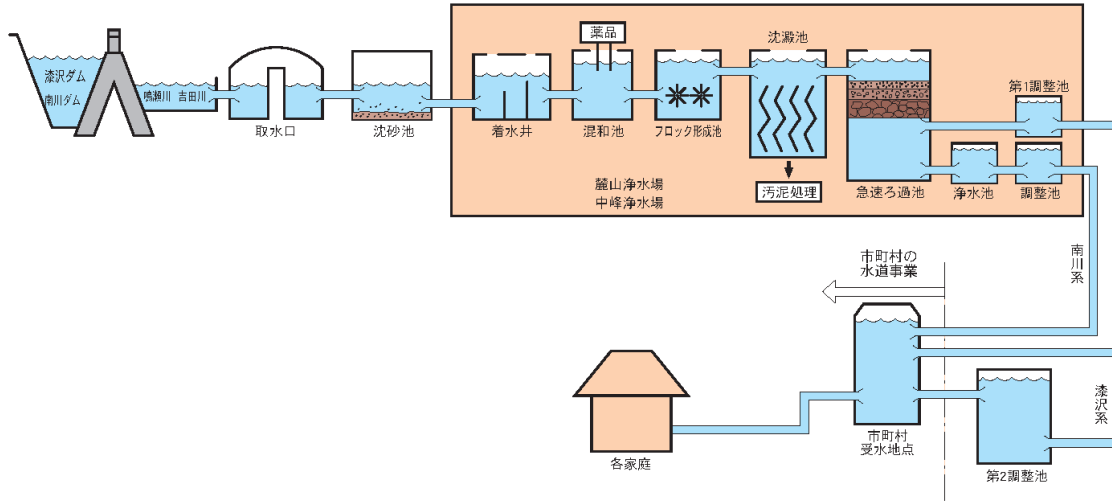
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 318千人

● 工 期

漆 沢 系	第一期工事	昭和 48 年度～昭和 54 年度
	第二期工事	昭和 55 年度～昭和 57 年度
南 川 系	第一期工事	昭和 58 年度～平成 6 年度
	第二期工事	水需要により対応

■ 大崎広域水道事業のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 計 画	漆沢系と南川系第一期工事 まで	南川系第二期工事以降
貯水施設 (ダム負担金)	漆沢系	2,413,440	2,413,440	
	南川系	4,344,090	4,344,090	
	計	6,757,530	6,757,530	
広域化施設	漆沢系	20,258,770	19,864,834	393,936
	南川系	12,986,805	11,957,045	1,029,760
	計	33,245,575	31,821,879	1,423,696
建設利息		18,920,581	17,159,395	1,761,186
合 計		58,923,686	55,738,804	3,184,882
財 源 内 訳	国庫補助金	12,123,336	11,668,895	454,441
	企業債	42,580,000	40,349,000	2,231,000
	出資金	3,806,000	3,308,000	498,000
	その他	414,350	412,909	1,441
	合 計	58,923,686	55,738,804	3,184,882

● ダム建設費等負担割合

〔 漆沢ダム 工期 昭和 43～55 年度 事業費 166.5 億円 〕
〔 南川ダム 工期 昭和 48～62 年度 事業費 210.0 億円 〕

(単位：%)

区 分	漆 沢 ダ ム		南 川 ダ ム	
	建 設 費	管 理 費	建 設 費	管 理 費
上 水 道	14.5	14.0	20.7	20.7
上 水 道 (松 島 町)	0.2	0.2	-	-
工 業 用 水	11	10.7	-	-
公 共 電	74.1	71.8	79.3	79.3
発 電	0.2	3.3	-	-
計	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 施設の概要

系統別 施設区分	漆沢系	南川系
貯水施設	漆沢ダム[宮城県] 目的 洪水調節, 流水の正常な機能維持, 発電 上水道[88,500 m ³ /日] 工業用水[60,000 m ³ /日] 型式 中央コア型ロックフィルダム 湛水面積 0.83 km ² 総貯水量 18,000,000 m ³	南川ダム[宮城県] 目的 洪水調節, 流水の正常な機能維持 上水道[40,000 m ³ /日] 型式 重力式コンクリートダム 湛水面積 0.9 km ² 総貯水量 10,000,000 m ³
取水施設	取水堰 L=40.0m H=3.3m 固定部 L=30.0m 可動部 L=3.0m×2門 取水口 2門 土砂吐ゲート, 管理橋 管理室, 電気計装設備一式	取水堰[可動堰] L=20.0m L=2.1m 洪水吐ゲート1門, 水位調節ゲート2門 水道用取水ゲート2門 管理橋, 電気計装設備一式
導水施設	導水トンネル等 2坑 L=4,313m 沈砂池 2池 導水管 φ900mm～φ1,350mm L=4,345m 水管橋 2橋 L=151m 管理室, 電気計装設備一式	沈砂池 2池 ポンプ井 1井 立軸斜流ポンプ 3台(4台) 導水管 φ700mm L=1,758m ポンプ棟, 動力・電気計装設備一式 管理棟, 活性炭注入設備 水管橋 1橋
浄水施設	着水井 1井 活性炭接触池 1池 混和池 2池 フロック形成池 4池 薬品沈殿池 4池 急速ろ過池 8池 第一調整池 RC造 2池 管理本館 RC造 地下1階, 地上3階建 延床面積 3,646 m ² 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外	着水井 1井 混和池 2池 フロック形成池 2池 薬品沈殿池 2池 急速ろ過池 4池(6池) 浄水池 RC造 2池 調整池 1池 管理棟 RC造 地下1階, 地上2階建 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外
送水施設	第二調整池 PC造 1池 送水管敷設 φ100mm～φ1,350mm L=99,806m 増圧ポンプ設備 水管橋 17橋[うち添架2] 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外	送水管敷設 φ200mm～φ600mm L=25,871m 水管橋 8橋[うち添架1] 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外

() 内は最終事業計画

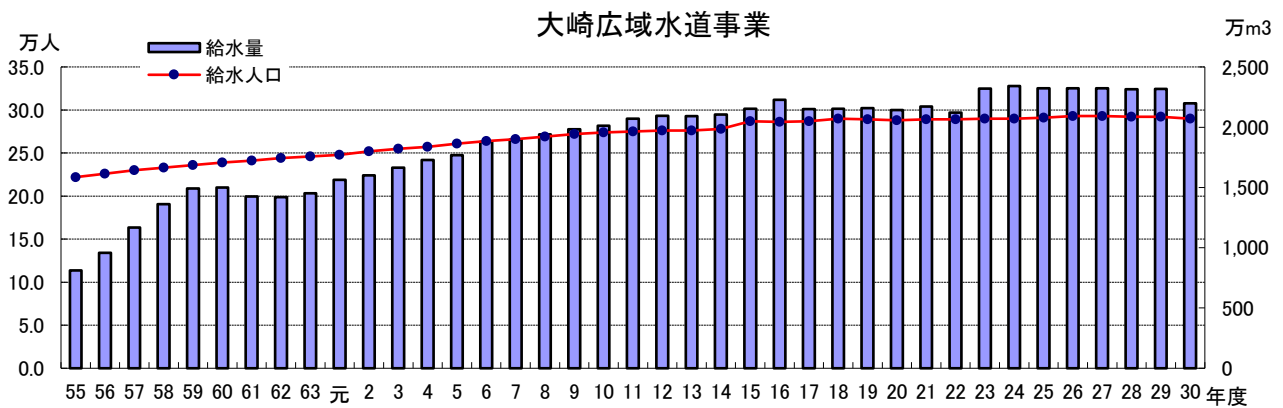
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
A	施設能力 m ³ /日	101,150	101,150	101,150	101,150	101,150
B	契約水量 m ³ /日	75,250	75,250	75,350	75,300	75,300
C	責任水量 m ³ /日	60,200	60,200	60,280	60,240	60,240
D	取水量 m ³ /年	25,669,932	25,766,867	24,323,254	—	—
E	給水量 m ³ /年	23,233,972	23,151,013	23,186,906	21,987,840	22,047,840
F	1日平均給水量 m ³	63,481	63,427	63,526	60,241	60,240
G	1日最大給水量 m ³	(8/6)72,065	(8/5)71,834	(7/12)71,232	—	—
H	有効水量 m ³ /年	23,233,942	23,148,021	23,184,228	—	—
I	1日平均有効水量 m ³	63,481	63,419	63,518	—	—
J	無効水量 m ³ /年	30	2,992	2,678	—	—
K	有収水量 m ³ /年	23,233,691	23,145,180	23,183,027	21,987,840	22,047,840
L	1日平均有収水量 m ³	63,481	63,411	63,515	60,241	60,240
M	動力費 千円	59,345	60,069	58,719	75,250	70,352
N	薬品費 千円	95,974	42,493	43,005	52,592	94,453
O	資本費 千円	1,450,403	1,390,109	1,366,500	1,415,988	1,387,787

※ 消費税含まず。H27～29 は決算ベース、H30 は最終現計予算ベース、H31 は当初予算ベースで作成。

■ 給水人口及び給水量（有収水量）の推移（各年度3月末日現在）



※ S55～H29 は決算ベース、H30 は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

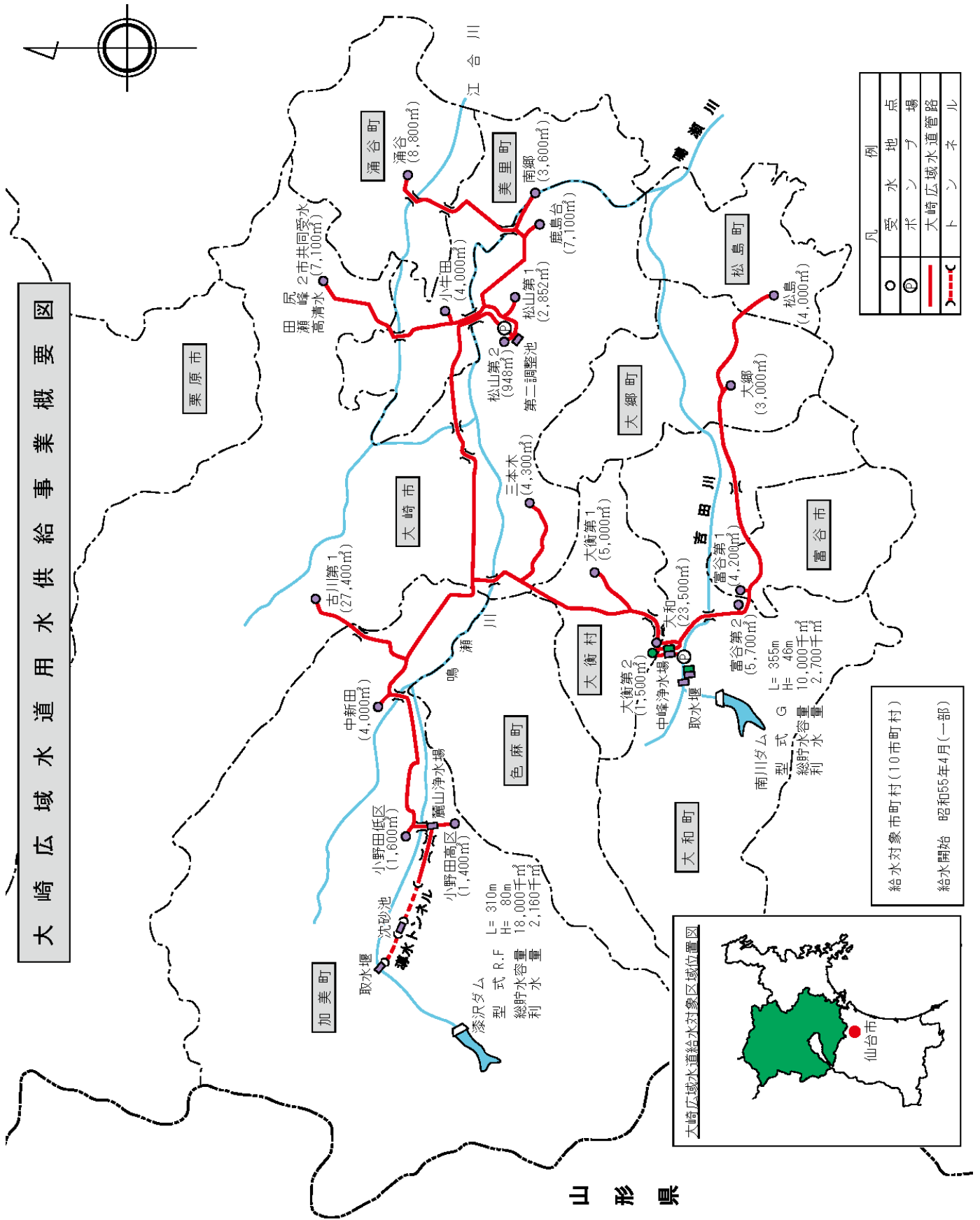
年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
基本料金	円/m ³ /月	950.00				
使用料金	円/m ³	67.00				
供給単価 (V/K)	円/m ³	125.93	126.34	126.05	129.22	128.86
給水原価 (W/K)	円/m ³	111.48	105.55	104.76	115.07	116.24
資本費 (O/K)	円/m ³	62.43	60.06	58.94	64.40	62.94

※ 消費税含まず。H27～29 は決算ベース、H30 は最終現計予算ベース、H31 は当初予算ベースで作成。

● 収支状況

年 度		H 27	H 28	H29	H30	H31	
収入	営業収益(除受託)	千円	2,929,920	2,928,549	2,925,240	2,845,675	2,845,376
	Vうち料金収入	千円	2,925,852	2,924,233	2,922,164	2,841,185	2,841,169
	営業外収益	千円	232,347	193,700	184,175	173,373	172,164
	特別収益	千円	59,947	145,624	—	—	—
	計	千円	3,222,214	3,267,873	3,109,415	3,019,048	3,017,540
支出	営業費用	千円	2,385,941	2,274,709	2,332,835	2,445,399	2,550,833
	営業外費用	千円	142,253	123,445	111,874	102,817	87,392
	特別損失	千円	74,504	64,972	71,100	4,314	8,632
	W総費用(除受託)	千円	2,590,040	2,442,947	2,428,567	2,530,209	2,562,847
	計	千円	2,602,698	2,463,126	2,515,809	2,552,530	2,646,857
当年度純利益	千円	632,431	825,559	683,158	537,767	398,513	

※ 消費税含まず。H27～29 は決算ベース、H30 は最終現計予算ベース、H31 は当初予算ベースで作成。



(2) 仙南・仙塩広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、七ヶ宿ダムを水源とし、仙南及び仙塩地域の 17 市町に対して一日最大 553,300 m³の水道用水を供給するものです。

昭和 52 年度から建設工事に着手し、平成元年度までに一日最大 150,000 m³の取水に対応する第一期工事が完了。平成 2 年度からは一部 (15 市町) 給水を開始し、平成 4 年度からは 17 市町すべてに給水しています。

また、平成 2 年度から着手した第二期工事が平成 5 年度に完了し、平成 6 年 4 月からはダム取水系の計画給水量である一日最大 279,000 m³の給水が可能となっています。

● 平成 31 年度の業務予定量

給水市町村数	8 市 9 町
年間総給水量	68,228,160 m ³
一日平均給水量	186,416 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計 画 取 水 量	計 画 給 水 量	取 水
ダ ム 取 水	300,000 m ³	279,000 m ³	七ヶ宿ダム直接
河道取水(白石川)	295,000 m ³	274,300 m ³	白 石 川 表 流 水
計	595,000 m ³	553,300 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量)

(単位 : m³/日)

市 町 名	給 水 量	市 町 名	給 水 量
白 石 市	24,700	仙 台 市	331,900
角 田 市	21,200	塩 竈 市	11,500
岩 沼 市	21,800	名 取 市	20,700
蔵 王 町	4,500	多 賀 城 市	21,000
大 河 原 町	8,200	富 谷 市	11,500
村 田 町	7,400	松 島 町	5,700
柴 田 町	20,300	七 ヶ 浜 町	10,900
亘 理 町	14,300	利 府 町	12,200
山 元 町	5,500		
仙 南 計	127,900	仙 塩 計	425,400
		合 計	553,300

● 給 水 計 画

ダム取水	平成 2 年 4 月 (一部給水開始)	139,500 m ³ /日
	平成 6 年 4 月	279,000 m ³ /日
河道取水	水需要により対応(第三期工事)	139,500 m ³ /日
	水需要により対応(第四期工事)	134,800 m ³ /日

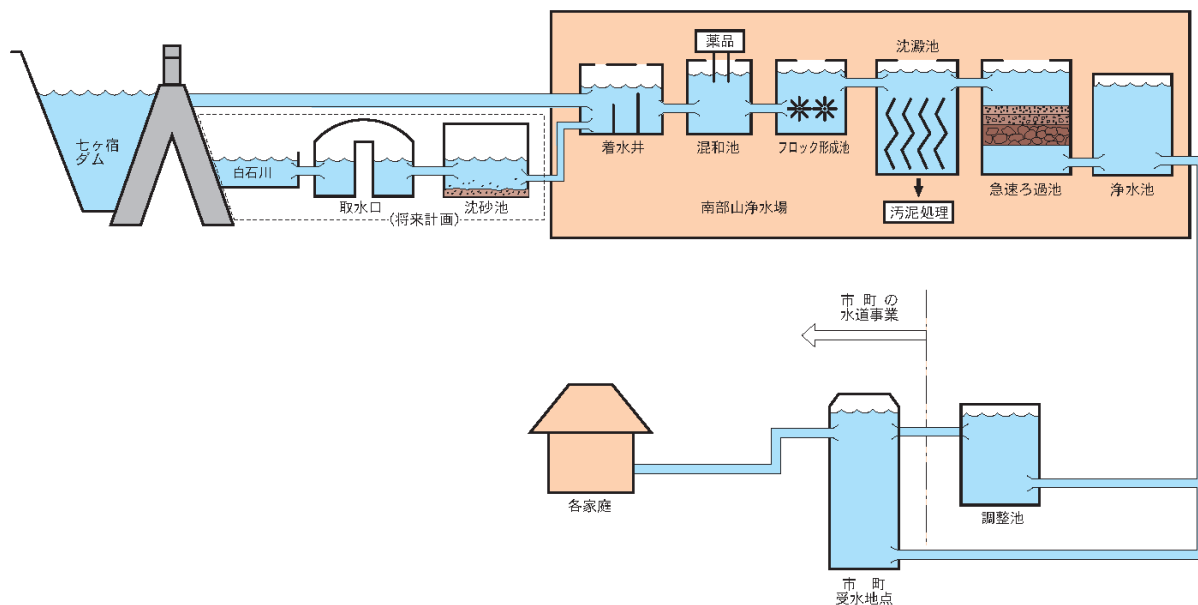
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 1,931 千人

● 工 期

第一期工事(ダム系)	昭和 52 年度～平成元年度
第二期工事(ダム系)	平成 2 年度～平成 5 年
第三期工事(河道系)	水需要により対応
第四期工事(河道系)	水需要により対応

■ 仙南・仙塩広域水道用水供給事業のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分	全体計画	第二期工事まで	第三期工事以降	
貯水施設(ダム負担金)	60,387,962	60,387,962		
広域化施設	第一期工事	113,627,437		
	第二期工事	4,422,187		
	第三期工事	16,897,601	14,918,831	
	第四期工事	5,188,743	5,188,743	
	計	140,135,968	120,028,394	20,107,574
建設利息等	110,395,811	108,002,546	2,393,265	
合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839	
財源内訳	国庫補助金	66,404,061	59,836,615	6,567,446
	企業債	212,865,000	203,640,000	9,225,000
	出資金	31,427,000	24,721,000	6,706,000
	その他	223,680	221,287	2,393
	合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839

● セッケ宿ダム建設負担割合(工期 昭和 48～平成 3 年度 事業費 1,266.8 億円)

(単位：%)

区 分	建設費	管理費
上 水 道	47.7	47.7
工 業 用 水	4.5	4.5
公 共	47.8	47.8
計	100.0	100.0

③ 施設の概要

施設区分	概要	
貯水施設	七ヶ宿ダム[国土交通省] 目 的 洪水調節, 流水の正常な機能維持, 都市用水, 河川維持 型 式 中央コア型ロックフィルダム 湛 水 面 積 4.1 km ² 総 貯 水 量 109,000,000 m ³ 本事業取水分 一日最大 595,000 m ³	
取水施設	ダム直接取水	河道取水
	取水塔 独立型シリンダーゲート式 H=48.5m シリンダー直径=1.2~2.2m 取水管 φ=1,200mm 管理橋 W=2.0m L=68.0m 取水管路 φ=1,200mm L=815m	可動堰 堰全長 80.5m 堰 高 3.6m 可動堰 3 スパン 取水管 φ=1,800mm L=825m 取水口 RC造 沈砂池 RC造 4池
導水施設	導水トンネル	導水管 φ1,500mm L=2,400m
	R=0.9 幌形[φ1,800mm] L=11,135m 水管橋 3橋 水路橋 1橋 総延長 11,703m	ポンプ 横軸両吸込渦巻ポンプ 2,200KW 5台 ポンプ棟 電気計装設備一式
浄水施設	着水井 1井(2井) 薬品混和池 2池(4池) フロック形成池 4池(8池) 傾斜板式横流沈殿池 4池(8池) 重力式急速ろ過池 20池(40池) 管理本館 RC造 地下1階, 地上3階建 延床面積 5,326 m ² 塩素混和池 2池 浄水池 2池	
送水施設	高区系[4市5町]	低区系[4市4町]
	調整池 RC造 2池 送水管 φ2,400mm~φ150mm L=123,409m 水管橋 24橋 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC造 2池 送水管 φ1,200mm~φ150mm L=77,060m 水管橋 13橋 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外

() 内は最終事業計画

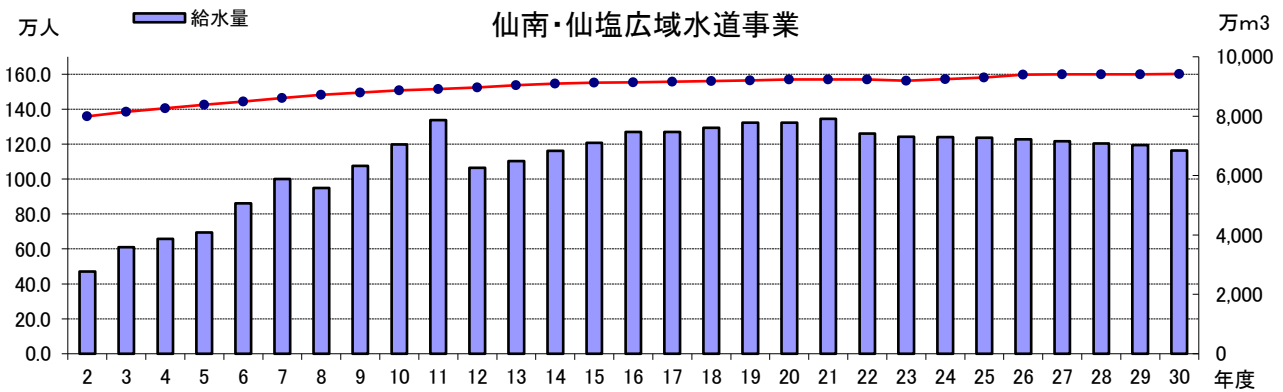
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
A	施設能力 m ³ /日	279,000	279,000	279,000	279,000	279,000
B	契約水量 m ³ /日	238,900	237,200	235,500	234,200	233,000
C	責任水量 m ³ /日	191,120	189,760	188,400	187,360	186,400
D	取水量 m ³ /年	75,062,900	73,655,110	73,182,670	—	—
E	給水量 m ³ /年	71,566,209	70,888,810	70,285,914	68,392,640	68,228,160
F	1日平均給水量 m ³	195,536	194,216	192,564	187,377	186,416
G	1日最大給水量 m ³	(9/12)214,494	(9/6)213,899	(7/11)210,349	—	—
H	有効水量 m ³ /年	71,566,209	70,888,810	70,285,914	—	—
I	1日平均有効水量 m ³	195,536	194,216	192,564	—	—
J	無効水量 m ³ /年	0	0	0	—	—
K	有収水量 m ³ /年	71,549,751	70,838,569	70,279,560	68,392,640	68,228,160
L	1日平均有収水量 m ³	195,491	194,078	192,547	187,377	186,416
M	動力費 千円	47,620	43,786	46,057	59,236	56,808
N	薬品費 千円	67,916	95,645	59,038	62,323	123,848
O	資本費 千円	6,647,780	6,551,091	6,442,162	6,407,859	6,386,799

※ 消費税含まず。H27～29は決算ベース、H30は最終現計予算ベース、H31は当初予算ベースで作成。

■ 給水人口及び給水量（有収水量）の推移（各年度3月末日現在）



※ H27～29は決算ベース、H30は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
基本料金	円/m ³ /月	1,050.00				
使用料金	円/m ³	54.00				
供給単価 (V/K)	円/m ³	151.56	152.45	153.32	155.93	156.03
給水原価 (W/K)	円/m ³	117.48	119.80	119.16	124.72	126.58
資本費 (O/K)	円/m ³	92.91	92.48	91.66	93.69	93.61

※ 消費税含まず。H27～29は決算ベース、H30は最終現計予算ベース、H31は当初予算ベースで作成。

● 収支状況

年 度		H 27	H 28	H29	H30	H31
収入	営業収益 (除受託) 千円	10,844,226	10,799,655	10,775,245	10,665,682	10,645,524
	Vうち料金収入 千円	10,844,226	10,799,655	10,775,245	10,664,782	10,645,524
	営業外収益 千円	1,106,289	1,082,585	1,107,818	1,076,722	1,075,135
	特別収益 千円	209,796	308,410	—	—	—
	計 千円	12,160,311	12,190,650	11,883,063	11,742,404	11,720,659
支出	営業費用 千円	7,548,873	7,340,945	7,327,805	7,758,154	7,893,036
	営業外費用 千円	1,009,704	877,263	740,626	650,226	539,472
	特別損失 千円	57,018	273,331	333,091	179,882	242,391
	W総費用 (除受託) 千円	8,405,582	8,486,215	8,374,442	8,529,781	8,636,035
	計 千円	8,615,595	8,491,539	8,401,522	8,588,262	8,674,899
当年度純利益 千円	3,760,443	3,704,626	3,508,621	3,392,550	2,983,751	

※ 消費税含まず。H27～29は決算ベース、H30は最終現計予算ベース、H31は当初予算ベースで作成。

仙南・仙塩広域水道用水供給事業概要図



凡 例	
○	受 水 地 点
Ⓟ	ポ ン プ 場
—	仙南・仙塩広域水道管路
- - -	ト ン ネ ル

給水対象市町村(17市町村)
給水開始 平成2年4月(一部)

七ヶ宿ダム

型	式	ロックフィルダム
堤高	90.0m	
集水面	236.6k㎡	
貯水面	4.1k㎡	
総貯水量	109,000千㎡	
有効貯水量	99,500千㎡	
最低水位	EL 261.5m	
平常時最高水位	EL 293.5m	
洪水時最高水位	EL 303.0m	

⑤ 再生可能エネルギーの導入

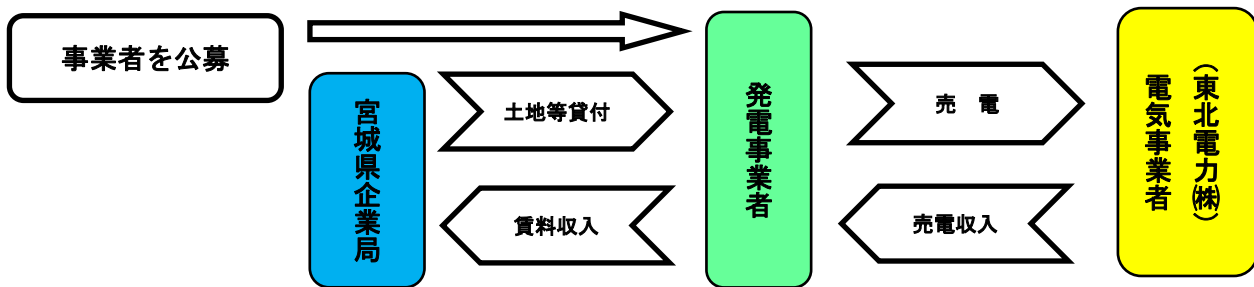
● 事業の概要

本県では、平成 24 年 6 月に「※みやぎ再生可能エネルギー導入推進指針」を策定し、東日本大震災からの復興に向け、再生可能エネルギーを活用した施策を実施し、「環境と経済の両立する宮城の実現」を目指すこととしています。

この推進プロジェクトの一つとして、「再生可能エネルギー大規模導入プロジェクト」を掲げており、企業局では、県有地や水道施設において民間活力を活用した太陽光発電及び省水力発電事業を実施し、再生可能エネルギーの導入の推進を図っています。

※平成 26 年 3 月「自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画」に統合

● 事業のスキーム



● 白石太陽光発電所

- ・事業主体 ソーラーパワー白石(株)
- ・土地概要 面積 16,887 m² 河道系沈砂池用地 (白石市福岡)
- ・発電出力 1,145kW
- ・発電電力量 123 万 kWh/年 (一般家庭約 350 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料 4,086,654 円
- ・事業費 約 3 億 5,000 万円
- ・太陽光パネル 6,940 枚
- ・工事着工 平成 25 年 7 月 9 日
- ・運転開始 平成 25 年 12 月 18 日

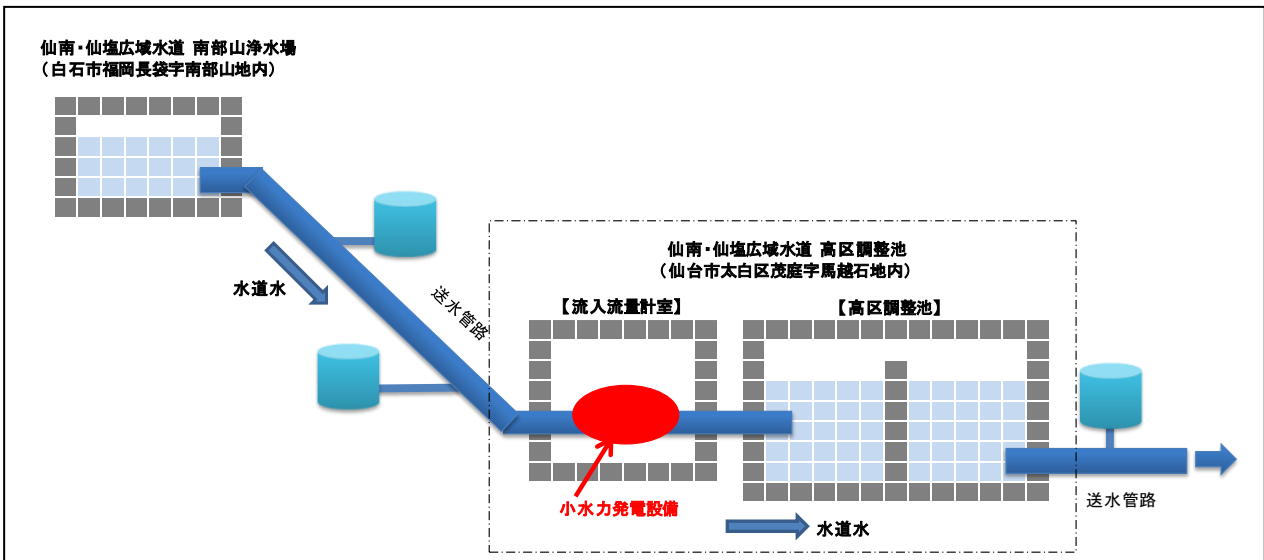


施工前

施工後

● 馬越石水力発電所

- ・事業主体 (株)アクアパワー東北
 【構成企業】東北発電工業(株), アジア航測(株),
 東北自然エネルギー(株), 日本小水力発電(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 高区調整池 (仙台市太白区茂庭)
- ・発電出力 250kW
- ・発電電力量 186万 kWh/年 (一般家庭約 550世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料, 施設利用料 約 500万円
- ・事業費 約 2億 5,000万円
- ・年間売電 約 5,400万円 (186万×29円=5,394万円)
- ・使用水量 平均水量: 1.037m³/S (約 90,000m³/日)
 最大水量: 1.25m³/S (約 108,000m³/日)
- ・有効落差 最大 25.80m
- ・総落差 28.10m (南部山浄水場浄水池 200.10m, 高区調整池 172.00m)
- ・工事着工 平成 26年 1月 24日
- ・運転開始 平成 26年 8月 1日



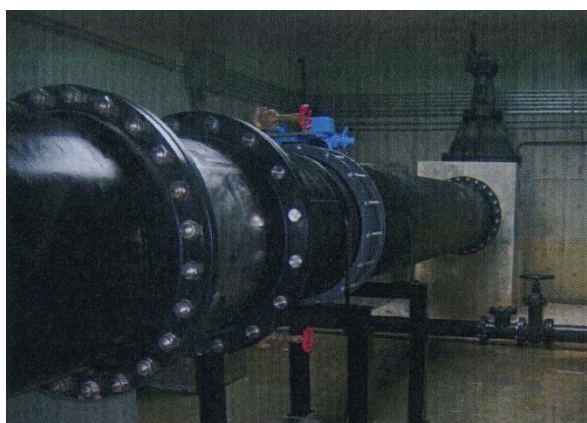
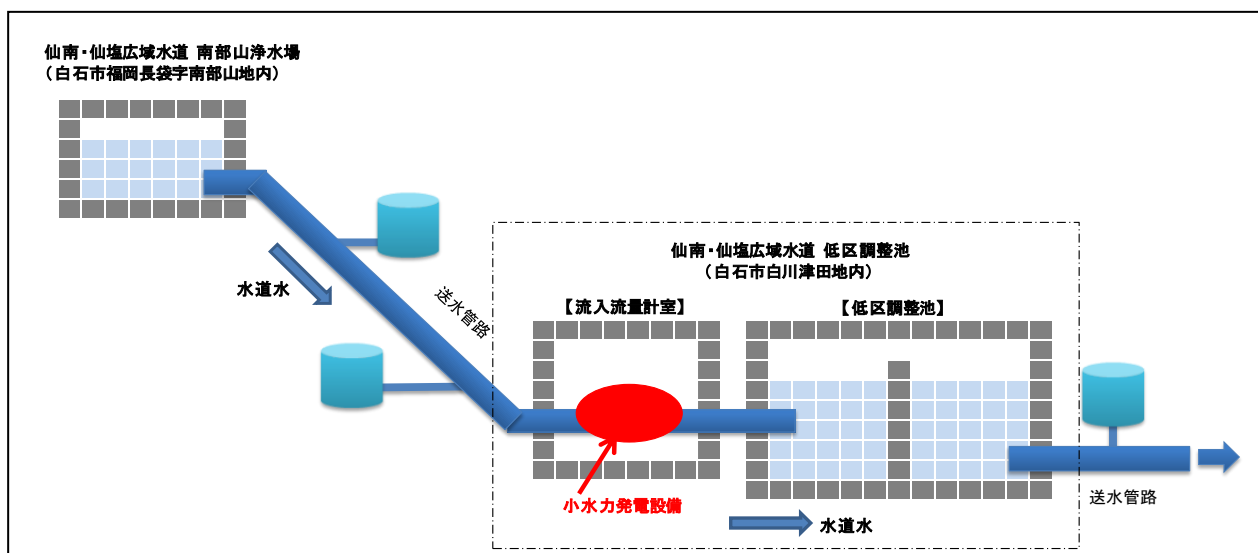
施工前



施工後

● 宮城県白石発電所

- ・事業主体 三峰川電力(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 低区調整池 (白石市白川津田)
- ・発電出力 90kW
- ・発電電力量 66万 kWh/年 (一般家、庭約200世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料, 施設利用料 約135万円
- ・事業費 約1億500万円
- ・年間売電 約2,200万円 (66万×34円=2,244万円)
- ・使用水量 平均水量: 0.44m³/S (約38,000m³/日)
最大水量: 0.48m³/S (約41,000m³/日)
- ・有効落差 最大27.90m
- ・総落差 34.10m (南部山浄水場浄水池 200.10m, 低区調整池 166.00m)
- ・工事着工 平成29年11月28日
- ・運転開始 平成30年4月9日



施工前



施工後

2 工業用水道事業

本県が実施する工業用水道は、仙塩地域工業開発の基盤整備の一環として建設した「仙塩工業用水道」、主として新産業都市 仙台湾地区 の拠点となる仙台港背後地の工業開発のために建設した「仙台圏工業用水道」、それに本県の内陸工業開発最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地等の内陸型工業団地へ供給するための「仙台北部工業用水道」があります。

また、本県南部の阿武隈川水系白石川に平成3年度に完成した七ヶ宿ダムを水源とし、仙南地域における各工業導入地区へ供給する計画のあった「仙南工業用水道（仮称）」については、平成21年度に事業廃止を決定し、現在、事業の清算を行っています。

(1) 仙塩工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は仙塩特定地域総合開発計画の一環として、昭和32年度から昭和38年度までの7年間で建設されたもので、昭和36年11月から仙塩地区へ給水を開始しており、給水能力は一日最大100,000 m³です。

昭和39年、仙塩地区を含む仙台湾地区が新産業都市に指定され、昭和46年の仙台港の開港等により工業導入も急速に進展し、本工業用水道はそれら地域開発に大きく寄与してきました。

また、地盤沈下現象が顕著である仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしています。

本工業用水道は建設後相当の期間が経過し、配水管等施設の老朽化が著しくなったことから、昭和49年度から昭和63年度までの15年間で改築工事を実施しています。また、平成元年度から建設を進めてきた仙台市泉地区及び富谷市成田地区への給水区域の拡張工事は平成5年度に終了し、平成6年4月1日より給水を開始しています。

● 平成31年度の業務予定量

給水事業所数	40社
年間総給水量	10,185,780 m ³
一日平均給水量	27,830 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系大倉川（大倉ダム）

● 取 水

広瀬川四ツ谷堰(仙台市青葉区折立郷六)大倉ダム放流水 一日最大100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大100,000 m ³	
水 質 等	水 温	摂氏 1度～25度
	濁 度	10度以下
	水素イオン濃度	PH6.0～8.0
	総 硬 度	120mg/ℓ以下

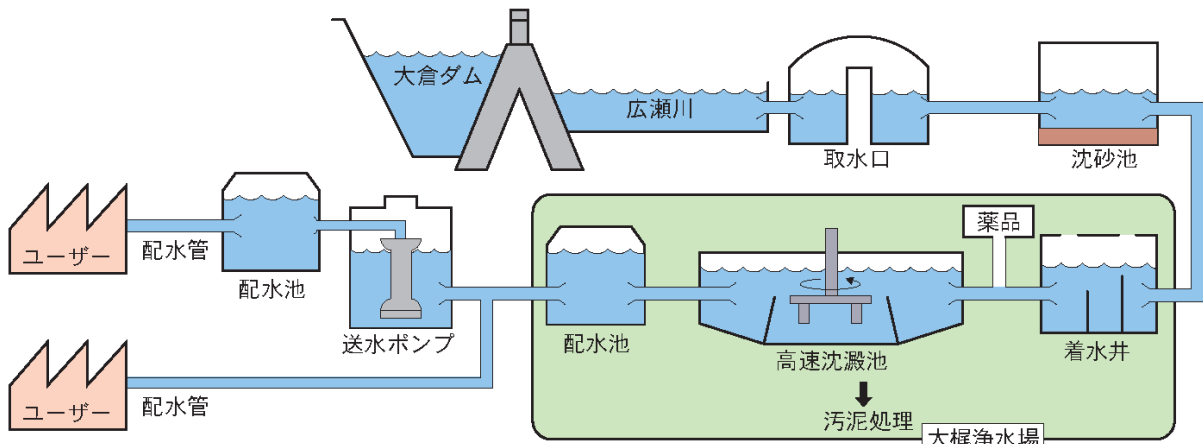
● 給水区域

仙台市，塩竈市，多賀城市，富谷市，七ヶ浜町，利府町，大和町

● 工期及び給水開始

当初建設	着工	昭和 32 年度
	完成	昭和 38 年度
給水開始	一部給水	昭和 36 年 11 月
	全部給水	昭和 39 年 4 月
拡張工事	仙台港背後地	昭和 45 年度
	塩釜市水産加工団地	昭和 45 年度～46 年度
改築工事		昭和 49 年度～63 年度
拡張工事	泉・富谷地区	平成 元 年度～ 5 年度

■ 仙塩工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分	事 業 費				計	
	当初建設	拡張工事	改築工事	拡張工事		
			(昭和 49～63 年度)	(平成元～5 年度)		
取水・導水・浄水工事費	421,204	-	2,793,012	66,671	3,280,887	
配水工事費	608,323	390,478	3,907,586	5,608,877	10,515,264	
用地補償費	24,296	480	336,397	200,178	561,351	
その他	36,177	23,042	672,494	697,131	1,428,844	
計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346	
財源内訳	国庫補助金	138,000	-	1,250,800	1,917,829	3,306,629
	企業債	935,000	414,000	6,299,697	1,618,000	9,266,697
	その他	17,000	-	158,992	3,037,028	3,213,020
	計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346

● 大倉ダム建設費負担割合(工期 昭和 32～36 年 事業費 2,762,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工業用水	5.6 %	5.6 %
公共	64.2 %	63.1 %
上水道	29.4 %	30.5 %
発電	0.8 %	0.8 %
計	100.0 %	100.0 %

③ 施設の概要

項目	概要
貯水施設	大倉ダム[宮城県] 目的 洪水調整, かんがい, 発電 上水道[135,000 m ³ /日] 工業用水道[100,000 m ³ /日] 型式 ダブルアーチ 湛水面積 1.67 km ² 総貯水量 28,000,000 m ³
取水施設	取水口, 自動除じん機
導水施設	導水路延長 隧道, 暗渠等 8,762m 導水連絡管 (φ700mm~φ1,000mm) 5,287m
浄水施設	着水井 1井 接合分水井 1井 高速沈殿池 4池 計量室 1式 中央操作室 1棟 電気計装施設 1式
送水施設	配水池 大槻配水池 2池(1池容量2,000 m ³) 富谷配水池 2池(1池容量1,000 m ³) 配水管延長 φ100mm~φ1,350mm 71,306m 水管橋 13橋 配水連絡管 φ500mm 626m 送水ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ 220kW 4台

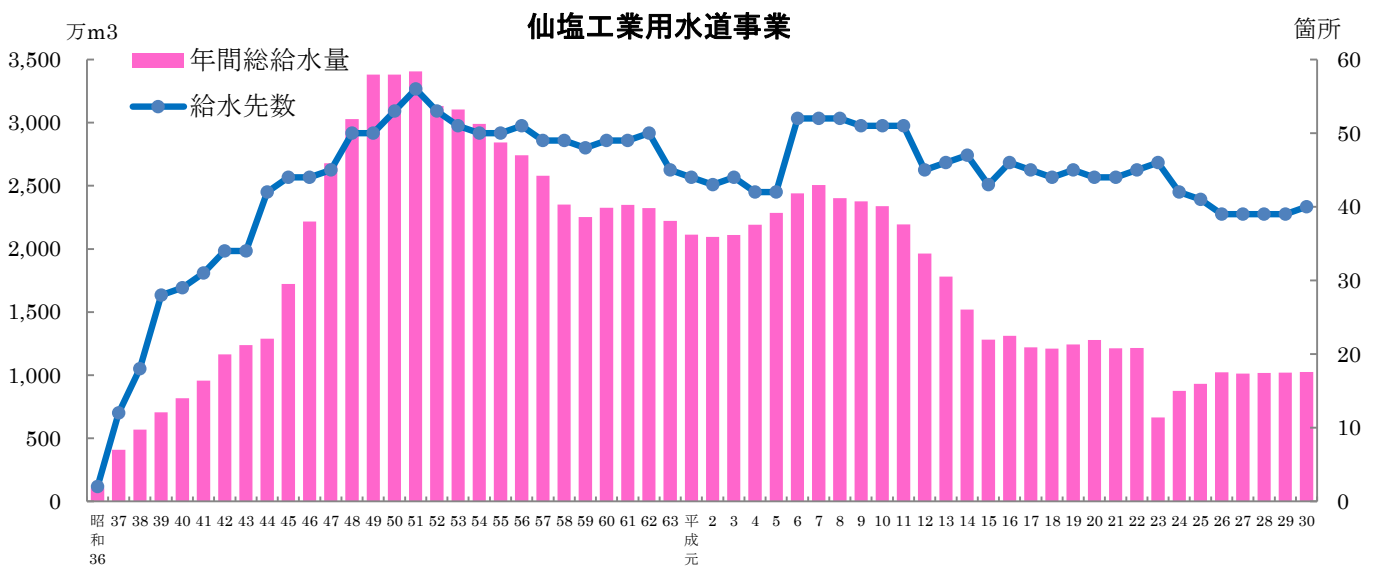
④ 経営の状況

● 給水状況

区分 \ 年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
契約水量 (m ³ /日)	33,140	33,440	24,810	23,770	28,360	27,840	27,640	27,890	27,890	27,990
契約事業所数(箇所)	44	45	44	42	41	39	39	39	39	40

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (平成 31 年 3 月末現在)

業 種	契約水量 (m ³ /日)	事業所数
石油製品製造業	9,600	1
電気業	7,500	2
電気機械器具製造業	2,220	5
食料品製造業	2,190	6
非鉄金属製造業	1,560	1
化学工業	480	1
金属製品製造業	300	2
輸送用機械器具製造業	200	1
印刷・同関連業	200	2
窯業・土石製品製造業	200	2
その他	3,540	17
計	27,990	40

● 料金(1立方メートル当たり)

区 分	S36年 11月1日	S45年 4月1日	S48年 4月1日	S50年 4月1日	S52年 8月1日	S56年 8月1日	S60年 4月1日
基本料金	3円50銭	4円50銭	6円	9円	13円	19円	28円
超過料金	7円	9円	12円	18円	26円	38円	56円
特定料金	3円50銭	4円50銭	-	-	-	-	-

区 分	H元年 4月1日	H4年 4月1日	H7年 4月1日	H9年 4月1日	H14年 4月1日	H26年 4月1日
基本料金	28円 28円84銭	33円 33円99銭	36円 37円08銭	36円 37円80銭	54円 56円70銭	54円 58円32銭
超過料金	56円 57円68銭	66円 67円98銭	72円 74円16銭	72円 75円60銭	108円 113円40銭	108円 116円64銭

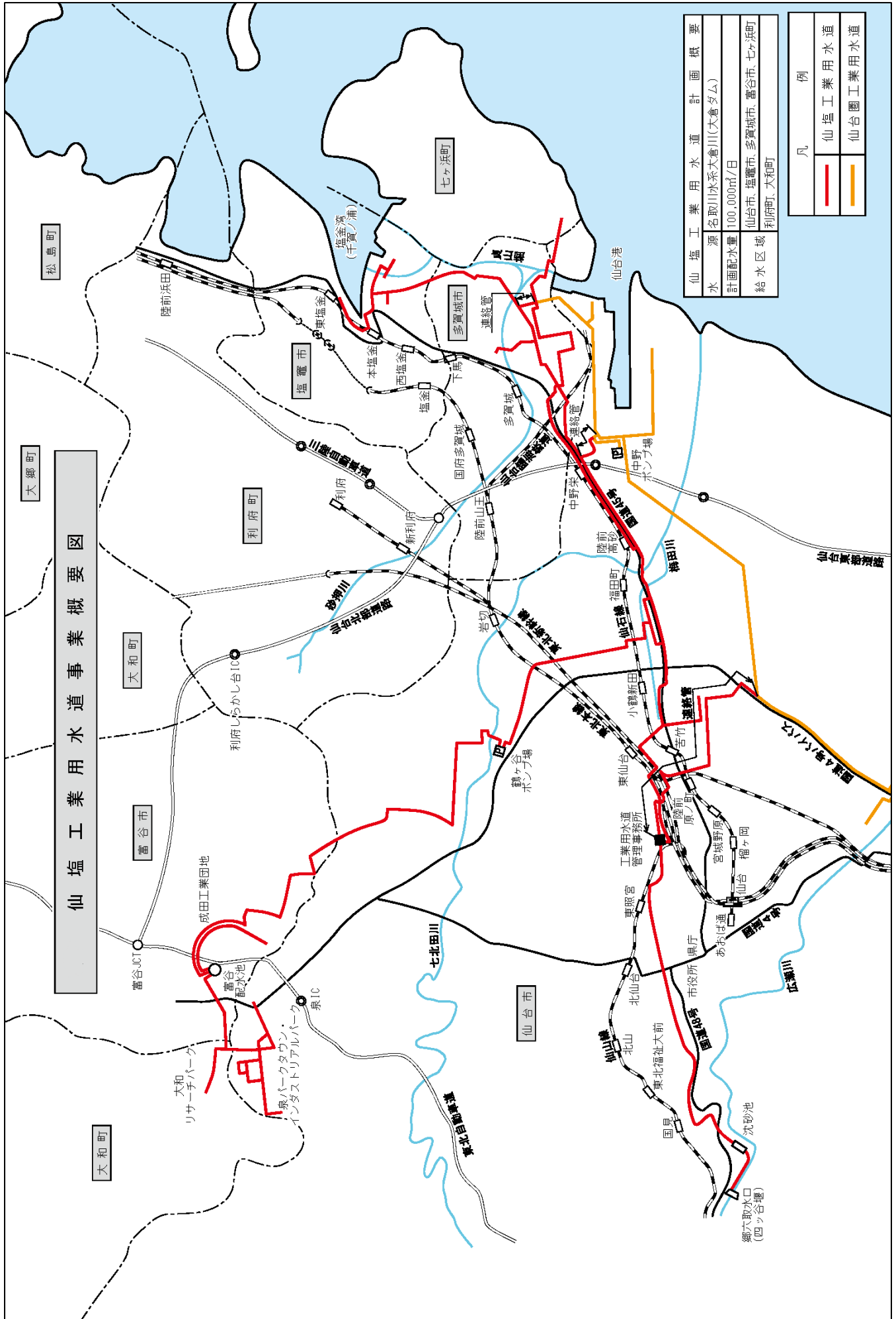
※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H27	H28	H29	H30	H31
収 入	営業収益	550,062	552,518	553,882	600,952	593,455
	営業外収益	161,467	167,831	154,263	155,559	155,226
	特別利益	3,097	3,015	0	0	0
	計	714,626	723,364	708,145	756,511	748,681
支 出	営業費用	584,226	610,869	620,507	657,799	665,077
	営業外費用	17,557	14,831	14,977	63,588	62,682
	特別損失等	101,317	0	12,968	500	500
	計	703,100	625,700	648,452	721,887	728,259
当年度純利益		11,526	97,664	59,693	34,624	20,422
当年度未処分利益剰余金		786,108	880,585	625,628	660,252	680,674
供給単価(円/m ³)		54.31	54.22	54.22	58.67	58.77
給水原価(円/m ³)		44.01	46.41	47.38	55.58	56.99
資本費(円/m ³)		22.91	23.29	22.60	23.53	24.54

※H27～29は決算額(消費税抜き)、H30は最終現計予算額(消費税込み)、H31は当初予算額(消費税込み)



(2) 仙台圏工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、新たに昭和 47 年度から昭和 51 年度までの 5 年間で建設したもので、昭和 51 年 10 月 1 日から給水を開始しています。

給水能力は一日最大 100,000 m³で、仙台港背後地に立地する石油精製、都市ガス、鉄鋼関連、ビール製造の企業等のほか、名取市、七ヶ浜町及び利府町の企業にも給水しています。

● 平成 31 年度の業務予定量

給水事業所数	14社
年間総給水量	15,002,340 m ³
一日平均給水量	40,990 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系碁石川（釜房ダム）

● 取 水

名取川頭首工(名取市高館熊野堂)釜房ダム放流水 一日最大 100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m ³
水 質	原水供給

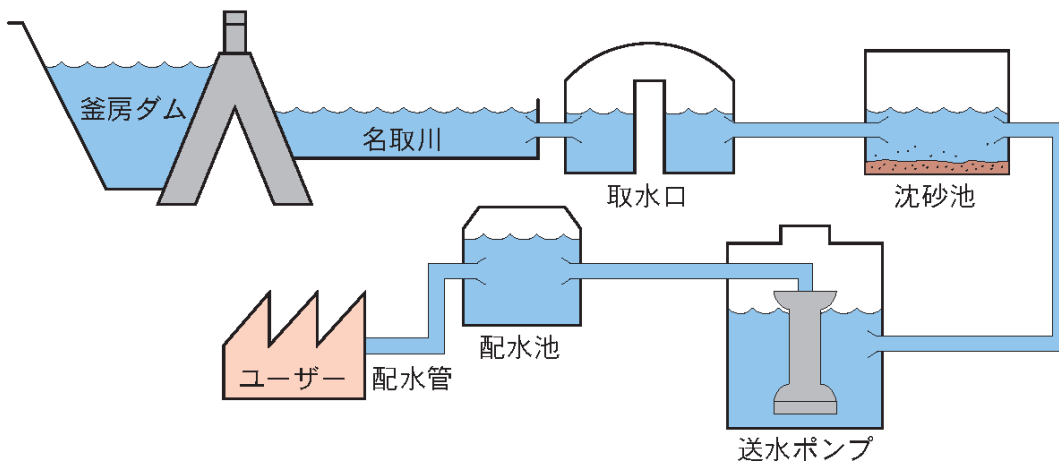
● 給水区域

仙台市，名取市，多賀城市，七ヶ浜町，利府町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 47 年度(ダム負担金は 42 年度から負担)
完 成	昭和 51 年度
給水開始	昭和 51 年 10 月

■ 仙台圏工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 事 業 費	摘 要
貯水工事費		566,260	S46年度まで
取水・送水工事費		1,093,773	S47～S51年度
配水工事費		4,294,447	〃
用地補償及び調査費		1,278,412	〃
その他		838,289	S42～S51年度
計		8,071,181	
財源内訳	国庫補助金	2,531,400	
	企業債	5,336,000	
	一般会計からの出資金等	200,403	
	その他	3,378	
計		8,071,181	

● 釜房ダム建設費等負担割合(工期 昭和 39～45年 事業費 8,720,000千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工業用水	6.5%	6.5%
公用	74.6%	74.6%
上水道(仙台市)	18.8%	18.8%
発電	0.1%	0.1%
計	100.0%	100.0%

③ 施設の概要

項 目	概 要
貯水施設	釜房ダム[国土交通省] 目的 洪水調整, かんがい, 発電 上水道[200,000 m ³ /日], 工業用水道[100,000 m ³ /日] 型式 重力式コンクリート 湛水面積 3.9 km ² 総貯水量 45,300,000 m ³
取水施設	取水口[幅 3.00m×長 3.50m×高 2.50m] スクリーン 沈砂池 612 m ³ 2池[走行式吸砂装置付]
送水施設	送水ポンプ 立軸斜流ポンプ 355kW 3台(うち予備1台) 自家発電機(停電予備用) 送水管 φ1,000mm 総延長 175m
配水施設	配水池 2池(1池あたり 2,000 m ³) 配水管 φ150mm～φ1,000mm 延長 29,417m 配水池～中田 φ1,100mm 4,712m 中田～名取 φ350mm 1,826m 中田～仙台港 φ1,000mm 14,618m 内 名取川水管橋 543m 笹川水管橋 24m 広瀬川水管橋 304m 七北田川水管橋 156m 仙台港 φ1,000mm 30m φ900mm 728m φ800mm 985m φ700mm 4,149m φ600mm 634m 若林 φ200mm～φ350mm 796m 南小泉 φ150mm 407m 仙塩・仙台圏の連絡管 φ500mm 532m

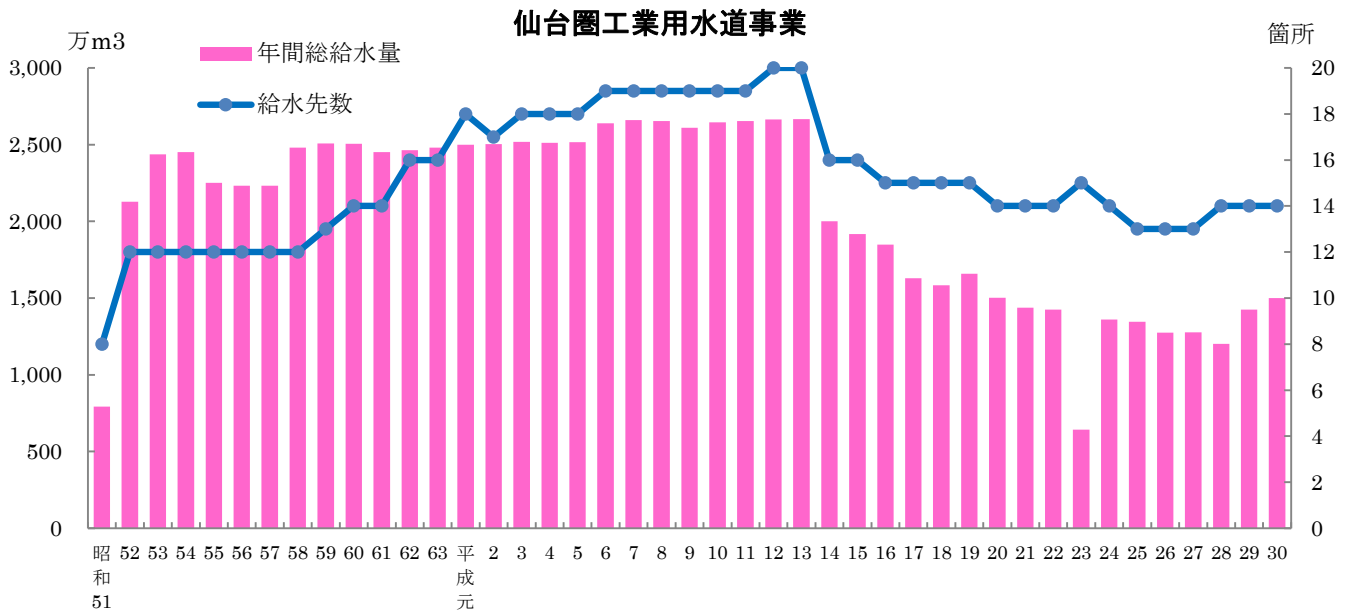
④ 経営の状況

● 給水状況

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
契約水量 (m ³ /日)		38,690	38,690	34,490	36,230	34,860	34,860	34,860	33,310	40,990	40,990
契約事業所数 (箇所)		14	14	15	14	13	13	13	14	14	14

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (平成31年3月末現在)

業種	契約水量 (m ³ /日)	事業所数
石油製品製造業	14,400	1
飲料・たばこ・飼料製造業	8,600	2
鉄鋼業	7,000	1
食料品製造業	1,300	2
ガス業	500	1
化学工業	290	2
電気業	8,000	1
ゴム製品製造業	300	1
プラスチック製品製造業	100	1
その他	500	2
計	40,990	14

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S51年 10月1日	S58年 4月1日	H元年 4月1日	H9年 4月1日	H26年 4月1日	H29 4月1日
基本料金	17円	23円	23円 23円69銭	23円 24円15銭	23円 24円84銭	30円 32円40銭
超過料金	34円	46円	46円 47円38銭	46円 48円30銭	46円 49円68銭	60円 64円80銭

※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H27	H28	H29	H30	H31
収 入	営業収益	340,887	502,500	516,845	497,857	593,714
	営業外収益	105,895	86,763	81,644	76,446	49,099
	特別利益	3,695	13,413	0	0	0
	計	450,477	602,676	598,489	574,303	642,813
支 出	営業費用	466,963	671,342	496,939	479,748	526,743
	営業外費用	3,484	8,145	58	16,276	41,266
	特別損失等	46,222	4,029	2,502	500	500
	計	516,669	683,516	499,499	496,524	568,509
当年度純利益		△66,192	△80,840	98,990	77,779	74,304
当年度未処分利益剰余金		298,788	216,447	306,332	384,111	458,415
供給単価(円/㎥)		23.01	23.05	29.50	32.44	32.65
給水原価(円/㎥)		28.60	34.41	24.52	28.01	29.00
資本費(円/㎥)		9.28	9.94	8.91	8.00	6.66

※H27～29 は決算額(消費税抜き), H30 は最終現計予算額(消費税込み), H31 は当初予算額(消費税込み)



仙台圏工業用水道事業概要図

(3) 仙台北部工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、黒川郡の大和町と大衡村にまたがる本県内陸最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地並びに大崎市及び加美郡加美町における立地企業に対し一日最大 58,500 m³の工業用水を供給するものです。

昭和 50 年度に建設工事に着手し、大崎市三本木地区までの整備を昭和 54 年度までに完成、昭和 55 年 4 月から一部給水を開始しており、その後、先端技術産業の立地促進のため、大衡村衡東地区に浄水場（濁度 1 度以下に浄水）を建設、昭和 62 年 4 月から給水しています。

また、昭和 63 年度から一部分譲を開始した仙台北部中核工業団地内の配水管布設工事は平成 3 年度に終了し給水を開始しており、平成 4 年度から平成 14 年度にかけて、第二仙台北部中核工業団地に配水管を布設しています。

● 平成 31 年度の業務予定量

給水事業所数	15社
年間総給水量	7,338,910 m ³
一日平均給水量	20,052 m ³

● 水 源

一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川（漆沢ダム）

● 取 水

門沢取水堰（加美町門沢）漆沢ダム放流水 一日最大 60,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 58,500 m ³
水 質	原水供給 53,500 m ³ /日
	一部浄水（濁度 1 度以下）5,000 m ³ /日（衡東浄水場）

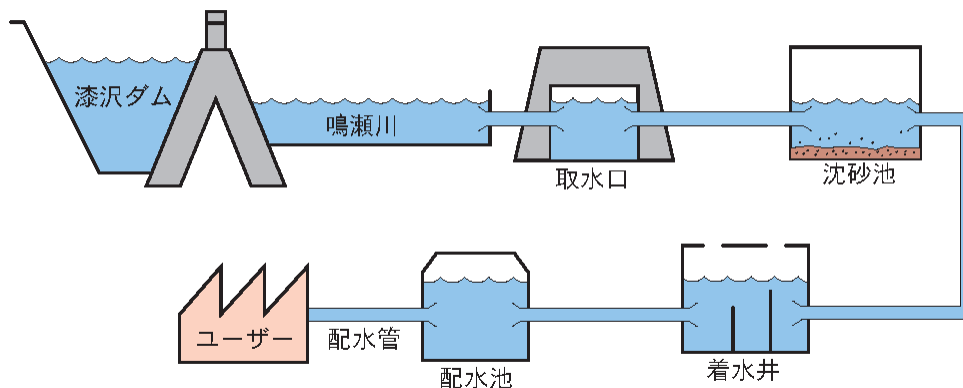
● 給水区域

大崎市，大和町，大衡村，加美町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 50 年度（ダム負担金は 48 年度から負担）
完 成	平成 3 年度
給 水 開 始	一部給水 昭和 55 年 4 月
	全部給水 平成 4 年 4 月

■ 仙台北部工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 事 業 費
取水・導水工事費		2,901,559
配水工事費		5,235,756
用地補償費		131,051
その他		5,936,239
計		14,204,605
財源内訳	国庫補助金	2,631,406
	企業債	10,638,000
	その他	935,199
	計	14,204,605

● 漆沢ダム建設費等負担割合

8ページ参照

③ 施設の概要

項 目	概 要			
貯水施設	漆沢ダム(大崎広域水道の水源内容と同じ)			
取水施設 〔大崎広域水道との共用〕	取水堰	長 40.0m×高 3.3m(固定部 長 30.0m・可動部 3.0m×2門)		
	取水口	2門 土砂吐ゲート, 管理橋		
	管理室	電気計装設備一式		
送水施設 〔大崎広域水道との共用〕	導水トンネル等	2坑	4,313m	
	沈砂池	2池		
	導水管	φ900mm～φ1,350mm	4,345m	
	水管橋	2橋	151m	
	管理室	電気計装設備一式		
浄水施設 〔衡東浄水場〕	着水井	1井	ろ過池	2池
	フロック形成池	2池	管理棟(平屋)	1棟
	沈殿池	2池	各種計装設備	1式
配水施設	配水池(麓山)		1,215 m ³	2池
	配水管	φ900mm	29,749m	
	内	〔掃出水管橋 204m 高田水管橋 274.6m〕		
		φ700mm	518m	
	内	(高倉水管橋 300m)		
		φ900mm	1,499m	
		φ400mm	3,569m	
		φ250mm～φ400mm	142m	(衡東枝線)
		φ150mm～φ600mm	8,714m	(仙台北部中核工業団地内)
		φ150mm～φ250mm	954m	(枝線)
		φ100mm～φ200mm	3,877m	(第二北部中核工業団地)
	桔梗平配水池		920 m ³	1池

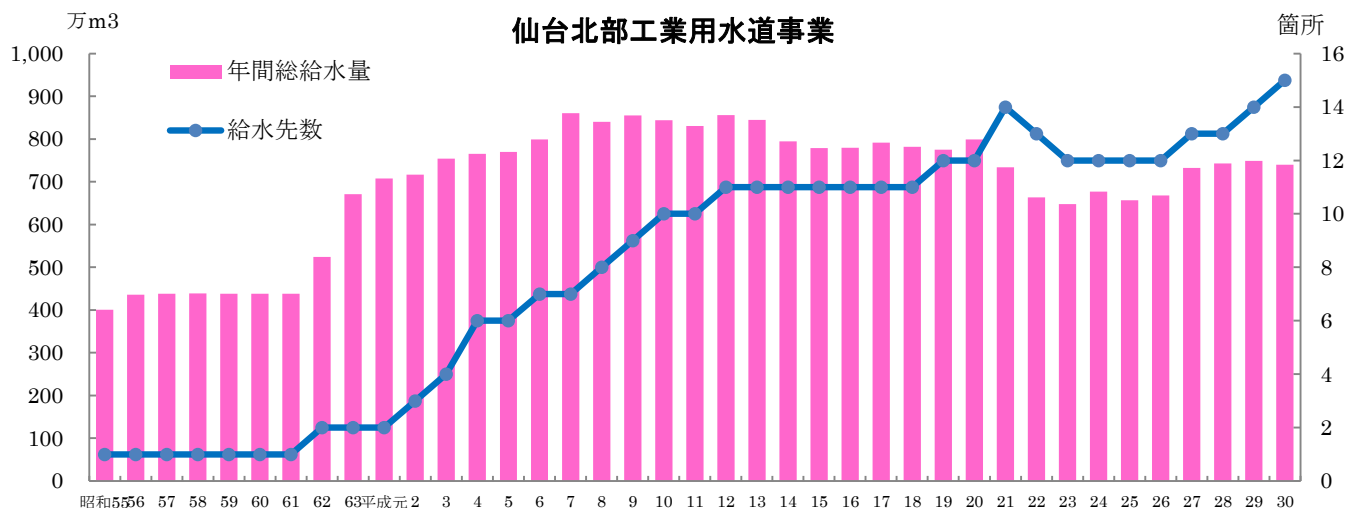
④ 経営の状況

● 給水状況

区分 \ 年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
契約水量 (m ³ /日)	17,890	17,820	19,070	18,690	17,960	19,660	20,260	20,360	20,360	20,560
契約事業所数 (箇所)	14	13	12	12	13	14	14	14	14	15

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (平成31年3月末現在)

業種	契約水量 (m ³ /日)	事業所数
金属製品製造業	8,840	2
電気機械器具製造業	5,720	6
化学工業	3,500	2
食料品製造業	1,250	2
輸送用機械器具製造業	1,050	2
非鉄金属製造業	200	1
計	20,560	15

● 料金 (1立方メートル当たり)

区分	S55年 4月1日	H元年 4月1日	H5年 4月1日	H8年 4月1日	H9年 4月1日	H13年 4月1日	H26年 4月1日
基本料金	36円	36円 37円8銭	43円 44円29銭	50円 51円50銭	50円 52円50銭	59円 61円95銭	59円 63円72銭
超過料金	72円	72円 74円16銭	86円 88円58銭	100円 103円	100円 105円	118円 123円90銭	118円 127円44銭

浄水施設で浄化した工業用水の供給を受ける場合は次の料金を加える。

区分	S62年 4月1日	H元年 4月1日	H5年 4月1日	H8年 4月1日	H9年 4月1日	H13年 4月1日	H26年 4月1日
基本料金	13円	13円 13円39銭	14円 14円42銭	16円 16円48銭	16円 16円80銭	20円 21円	20円 21円60銭
超過料金	26円	26円 26円78銭	28円 28円84銭	32円 32円96銭	32円 33円60銭	40円 42円	40円 43円20銭

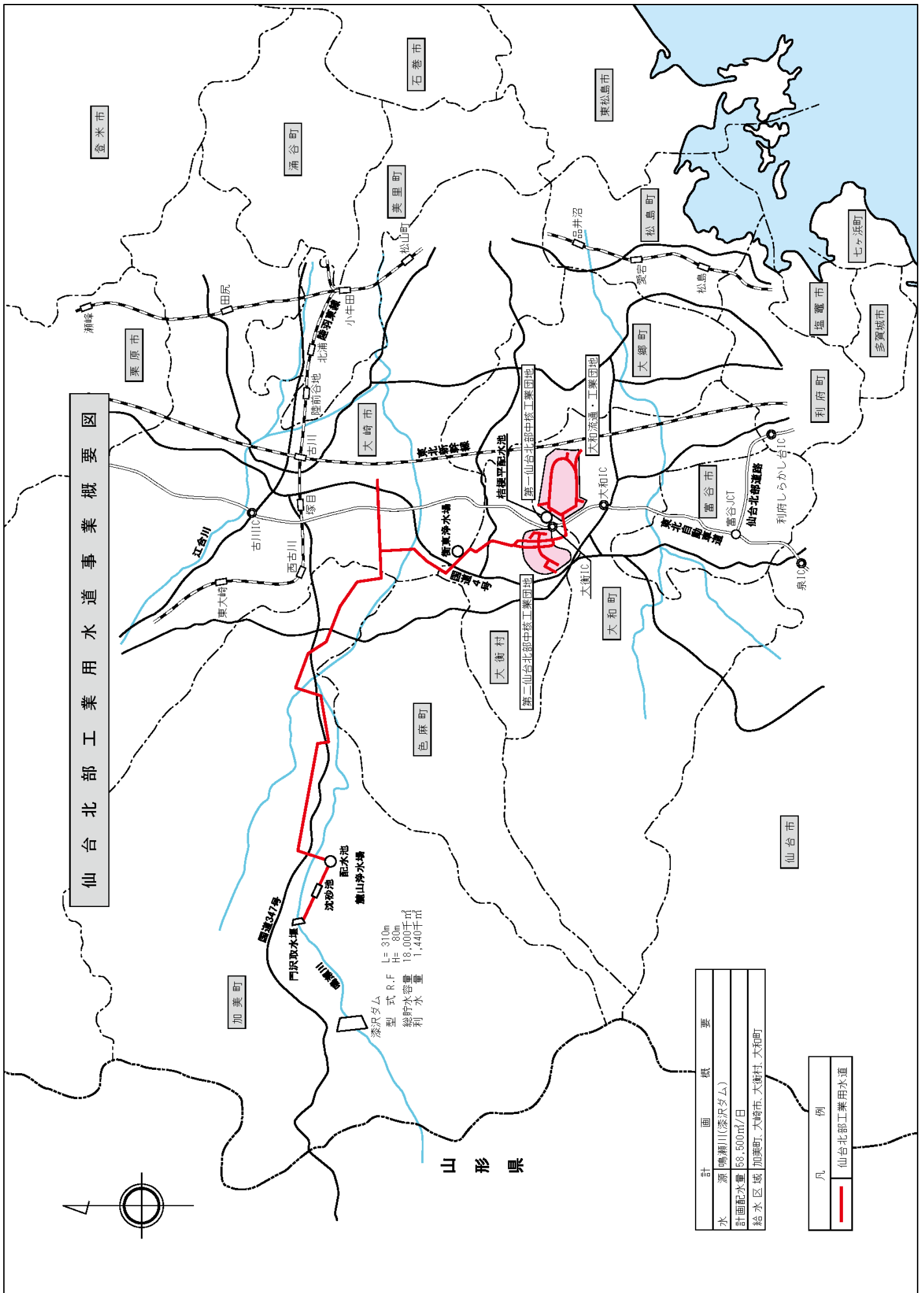
※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H27	H28	H29	H30	H31
収 入	営業収益	458,106	463,990	468,415	499,823	490,882
	営業外収益	74,346	72,461	74,119	70,067	69,517
	特別利益	4,441	5,008	0	3,105	0
	計	536,893	541,459	542,534	572,995	560,399
支 出	営業費用	395,336	421,292	421,521	445,383	445,055
	営業外費用	4,864	2,782	1,608	30,755	88,699
	特別損失等	3,966	0	0	300	300
	計	404,166	424,074	423,129	476,438	534,054
当年度純利益		132,727	117,385	119,405	96,557	26,345
当年度未処分利益剰余金		△763,780	△646,395	△526,990	△430,433	△404,088
供給単価(円/㎥)		62.52	62.48	62.53	67.17	68.07
給水原価(円/㎥)		44.73	47.42	46.87	54.62	64.39
資本費(円/㎥)		30.52	30.01	29.71	30.51	30.45

※H27～29 は決算額(消費税抜き), H30 は最終現計予算額(消費税込み), H31 は当初予算額(消費税込み)



(4) 仙南工業用水道事業(仮称)

① 事業の概要

本事業は、仙南地域における工業用水の供給を目的として計画されていた事業ですが、水需要が見込めないことから、平成 21 年度に事業廃止を決定し、平成 22 年度以降は事業の清算を行ってきており、平成 31 年度に清算が終了する予定です。

● 清算状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	H31	備 考
収 益 的 収 入	76,852	22,055	7,586	3,179	他会計補助金
収 益 的 費 用	530	161	52	14	企業債利息等
当 年 度 利 益	76,322	21,894	7,534	3,165	
資 本 的 収 入	-	-	-	-	
資 本 的 支 出	76,324	21,894	7,534	3,169	企業債等償還金
収支(△不足額)	△76,324	△21,894	△7,534	△3,169	
年度末資金残高	1	1	1	0	

※H30 は最終現計予算額, H31 は当初予算額

3 地域整備事業

(1) 事業の概要

本事業は、仙台港国際ビジネスサポートセンターの建設計画の推進を契機として、平成9年度に新たに創設したもので、地域振興に資する施設の建設や活力ある県土づくりの核となる地域開発、所有資産の有効かつ効率的な運用等により、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を図り、もって県民の福祉の増進に寄与することを目的としているものです。

(2) 事業内容

① 地域整備事業

仙台港国際ビジネスサポートセンター等地域振興に資する施設の建設や、所有資産を有効かつ効率的に運用することにより、地域整備の促進を図り、もって地域住民の福祉の向上に寄与しようとするものです。

② 新分野開発調査

新たな県民ニーズに的確に応え、住民福祉の向上に寄与するため、地方公営企業としての事業化の可能性について調査・研究を行うものです。

③ 長期貸付事業

所有資産の有効活用を図るとともに、地域整備に資する事業の金利負担の軽減を図り、事業の円滑な実施と企業経営の安定に寄与するものです。

(3) 平成31年度の主な事業

① 仙台港国際ビジネスサポートセンター（愛称：アクセル）施設管理運営事業

アクセルは、仙台港の国際貿易における港湾業務機能の支援と賑わいの創出による交流機能の集積を図ることを目的に、FAZ（輸入促進）事業を担う株式会社仙台港貿易促進センターと合築で建設し、平成12年3月18日に全館開業しました。

東日本大震災での地震・津波により施設は甚大な被害を受け、震災以降1・2階部分のアクセル・ホール及びラボ等は営業を休止していましたが、平成25年度からの本復旧工事により平成26年7月、みやぎ産業交流センター（夢メッセ）西館（経済商工観光部所管）として再開しました。

企業局が管理運営する3～5階のオフィス部分については、顧客ニーズに則した入居促進策や適切な維持策を講じ、更なる経営改善を図るとともに、仙台市の津波避難施設（平成28年度指定）として、本地域の防災拠点の機能も担ってまいります。

建物概要

所在地	仙台市宮城野区港三丁目1-3
敷地面積	26,076 m ² (約7,887坪)
延床面積	10,750 m ² (約3,252坪)
構造	地上5階、鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
建設年度	平成9年度～平成11年度
駐車場台数	525台
施設	1階 多目的ホール、イベントホール、会議室 2階 研修室、事務室等 【1・2階夢メッセみやぎ西館として指定管理部分】
	3階～5階 オフィススペース、会議室 【企業局所管部分】

② 仙台港周辺地域賑わい創出推進事業

仙台港の開港以来常に当地域の発展に関わってきた企業局として、仙台港周辺地域の立地企業や関係機関と連携して積極的に賑わいの創出に向けた事業を推進しています。

平成 29 年 4 月 12 日に官民連携組織である仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアムが設立され、主催イベントの実施や、仙台港周辺地域のまちづくりに関する検討などの活動支援を行っています。

③ みなと仙台ゆめタウン土地活用事業

平成 27 年度に、仙台港背後地土地区画整理事業旧保留地を土木部から有償所管換し、貸付け等による土地の利活用を通じて企業等の立地を促進し、仙台港地域の新たな賑わいの創出を図っています。これまでに、有償管理換した 19 区画 38,123 m²のうち 8 区画 14,602 m²を売却し、残り 11 区画 23,521 m²の貸付を行っています。



④ 仙台港背後地土地区画整理事業施行地区内センター地区の貸付事業

当該地区のうち、24 街区・25 街区を仙台市及び宮城県企業局が所有しており、以下のとおり三井不動産株式会社グループ（代表企業：三井不動産株式会社、その他構成企業：株式会社カインズ）へ貸付けを行っています。

街区	所有者	面積	事業者	事業内容	備考
24	県企業局	9.2ha	三井不動産株式会社	アウトレットモール、住宅展示場等	土地9.2haのうち0.9haは平成19年9月に土木部から管理換したものの
25	県企業局	3.0ha	株式会社カインズ	ホームセンター、家電、衣料等	県企業局の土地3.0haは平成19年9月に土木部から管理換えしたものの
	仙台市	4.1ha			

経緯	平成18年10月	土地の貸付に係る公募（名称：みなと仙台ゆめタウン仙台港背後地センター地区事業提案募集、主催者：宮城県・県企業局・仙台市）の実施
	19年3月	事業予定者決定（三井不動産株式会社グループ）
	19年5月	みなと仙台ゆめタウン仙台港背後地センター地区の事業提案に基づく県市所有地事業用借地権設定契約等に関する基本協定締結
	19年9月	宮城県から県企業局へ土地の管理換え実施
	19年10月	24街区事業用借地権設定契約締結
	20年4月	工業用地等造成事業の清算に伴い地域整備事業会計へ土地の管理換えを実施
	20年9月	アウトレットモール等（24街区）オープン
	20年10月	25街区事業用借地権設定契約締結
	21年5月	ホームセンター等（25街区）オープン
	23年3月	東日本大震災の津波被害により2事業者とも営業休止
	23年4月	ホームセンター営業再開
	23年6月	アウトレットモール営業再開

⑤ 他会計に対する長期貸付事業

（単位：円） H31.3.31 現在

貸付先別合計	貸付額	償還済額	償還残高	備考
大崎広域水道	907,000,000	907,000,000	0	5本（うち完済5本）
仙南・仙塩広域水道	2,100,000,000	1,747,149,890	352,850,110	3本
仙塩工業用水道	2,005,700,000	1,904,546,018	101,153,982	7本（うち完済4本）
仙台圏工業用水道	231,000,000	231,000,000	0	1本（うち完済1本）
仙台北部工業用水道	2,266,500,000	2,189,611,673	76,888,327	10本（うち完済3本）
仙南工業用水道	892,000,000	892,000,000	0	1本（うち完済1本）
計	8,402,200,000	7,871,307,581	530,892,419	

4 流域下水道事業

下水道は、良好な都市環境の形成と公衆衛生の向上に寄与するとともに、河川等の公共用水域の水質保全に重要な役割を有する住民生活に不可欠なライフラインです。

そのうち、流域下水道事業は、2以上の市町村の公共下水道からの汚水を受け、広域的かつ効果的に汚水を処理するため、都道府県が主体となって管理運営するものです。

本県が実施する流域下水道事業は、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」、「北上川下流流域下水道」、「北上川下流東部流域下水道」、「迫川流域下水道」の7流域になります。

(1) 仙塩流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、松島湾、七北田川の公共用水域の水質保全を目的として、仙塩中央地区3市2町（仙台市・塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和45年の下水道法の改正による流域下水道の法制化後、昭和47年に東北地方初の流域下水道として事業着手し、昭和53年に一部供用を開始しました。現在の管渠は、26.2kmが整備され、平成29年度末の処理区域人口は、315千人、下水道処理人口普及率は99.3%に達しています。

● 平成31年度の業務予定量

関連市町村数	3市2町
年間処理汚水量	39,716,000 m ³
日平均処理汚水量	108,514 m ³

● 仙塩流域計画一覧表（平成30年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	13,983ha		
処理面積	9,008.8ha	8,453.1ha	7,354.4ha
処理人口	308,531人	321,206人	315,250人
処理能力	222,200 m ³ /日	222,000 m ³ /日	222,000 m ³ /日
系列数	4	4	4
管渠延長	26,246m	26,246m	26,246m
ポンプ場	1箇所	1箇所	1箇所
計画目標年度	平成47年度	平成37年度	-

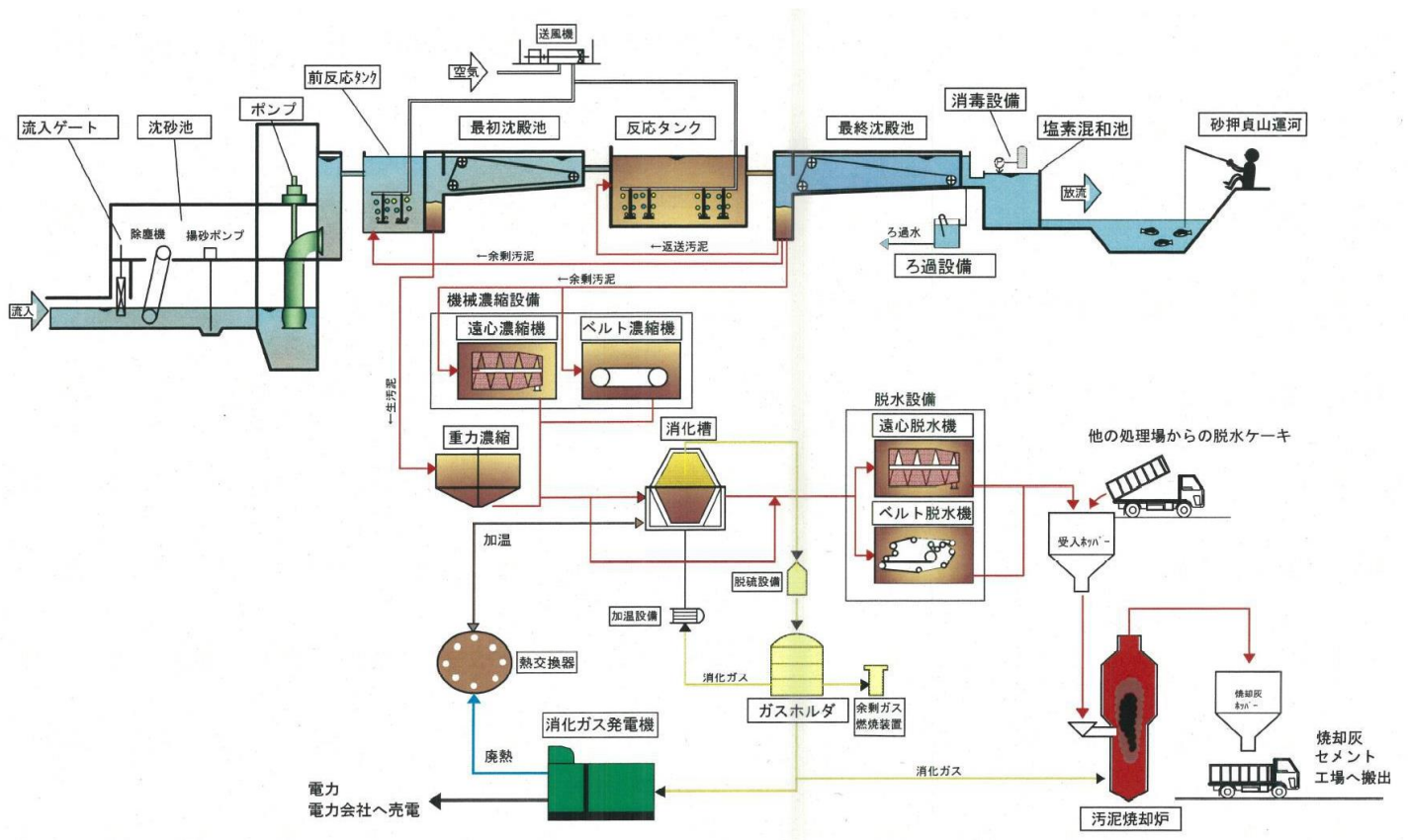
● 関連市町日平均汚水流入量（平成29年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	56,260	七ヶ浜町	5,013
塩竈市	22,190	利府町	10,027
多賀城市	20,004	合計	113,495

● 沿革及び認可関係（平成30年3月31日現在）

事業着手年度	昭和47年度
供用開始年月日	昭和53年6月1日
当初認可取得年月日	昭和48年3月28日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	平成38年3月31日

■ 仙塩浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成 29 年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建 設 改 良 費	国庫補助金	44,580,137
	起 債	11,254,600
	他会計繰入金	1,443,526
	市町分担金	12,613,362
	その他	0
	合 計	69,891,625

③ 施設の概要

施設名	仙塩流域下水道事業	
	仙塩浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	電気センター	1 棟
	送風機棟	1 棟
	旧塩素滅菌棟	1 棟
	消毒棟	1 棟
	沈砂池	264.1 m ³ (2 池)
	前反応タンク	2,268 m ³ ×2 系
		900 m ³ ×2 系
	最初沈殿池	13,962 m ³
	反応タンク	64,127 m ³
	最終沈殿池	29,183 m ³
	塩素混和池	3,480 m ³
汚泥処理施設	汚泥処理棟	1 棟
	遠心濃縮機棟	1 棟
	焼却炉棟	1 棟
	ケーキ受入ホッパー棟	1 棟
ポンプ場	塩釜中継ポンプ場	

④ 経営の状況

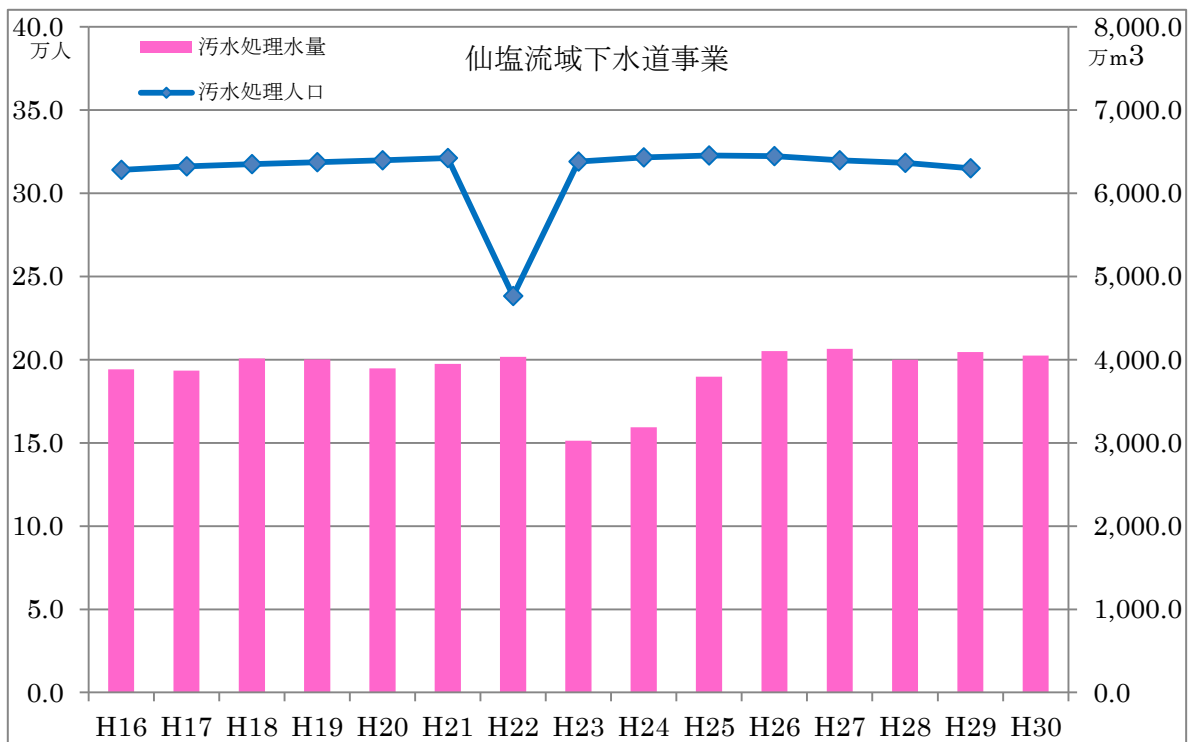
● 処理量等

年 度	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
A 施設能力 m ³ /日	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
B 処理人口 人	319,855	318,254	315,250	集計中	-
C 処理水量 m ³ /年	41,316,288	39,996,565	40,922,494	40,493,171	39,716,000
D 有効水量 m ³ /年	41,316,288	39,996,565	40,922,494	40,493,171	39,716,000
E 1日平均処理量 m ³	113,194	109,580	110,939	110,941	108,811
F 1日最大処理量 m ³	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
G 管渠費 千円	-	-	-	-	19,842
H ポンプ場費 千円	-	-	-	-	88,250
I 処理場費 千円	-	-	-	-	1,470,388

※ 消費税含まず。H27～29は決算ベース、H30は最終現計予算ベース、H31は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30の管渠費、ポンプ場費、処理場費は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H30 汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 27	H 28	H 29	H30	H31
負担金 千円	1,404,754	1,503,870	1,538,686	1,522,543	1,580,696
負担金単価 円/m ³	34.4	38.0	38.0	38.0	39.8
汚水処理原価 円/m ³	34.4	38.0	38.0	38.0	39.8
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	34.0	37.6	37.6	37.6	39.8
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.4	0.4	0.4	0.4	

※ 消費税を含む。H27～H30は決算ベース、H31は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い、H31から資本費を維持管理費に含めて算定。

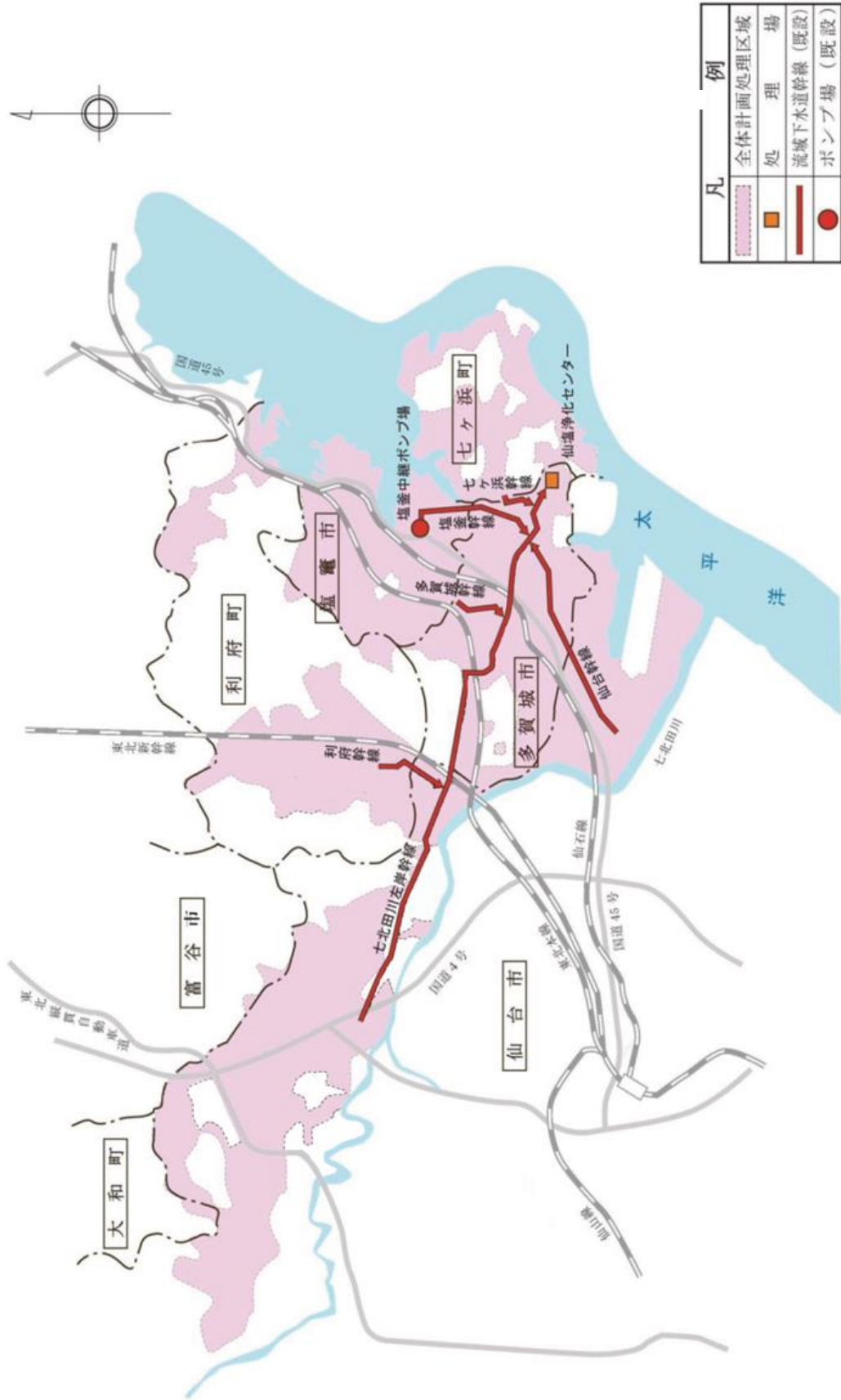
● 収支状況

年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
収入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	-	1,580,696
	Vうち料金収入 千円	-	-	-	-	1,580,696
	営業外収益 千円	-	-	-	-	2,398,386
	特別収益 千円	-	-	-	-	0
	計 千円	-	-	-	-	3,979,082
支出	営業費用 千円	-	-	-	-	3,921,986
	営業外費用 千円	-	-	-	-	117,797
	特別損失 千円	-	-	-	-	13,610
	W総費用(除受託) 千円	-	-	-	-	3,921,986
	計 千円	-	-	-	-	3,921,986
当年度純利益 千円		-	-	-	-	57,096

※ 消費税を含む。H31 は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30 は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

仙塩流域下水道一般図



⑤ 再生可能エネルギーの導入

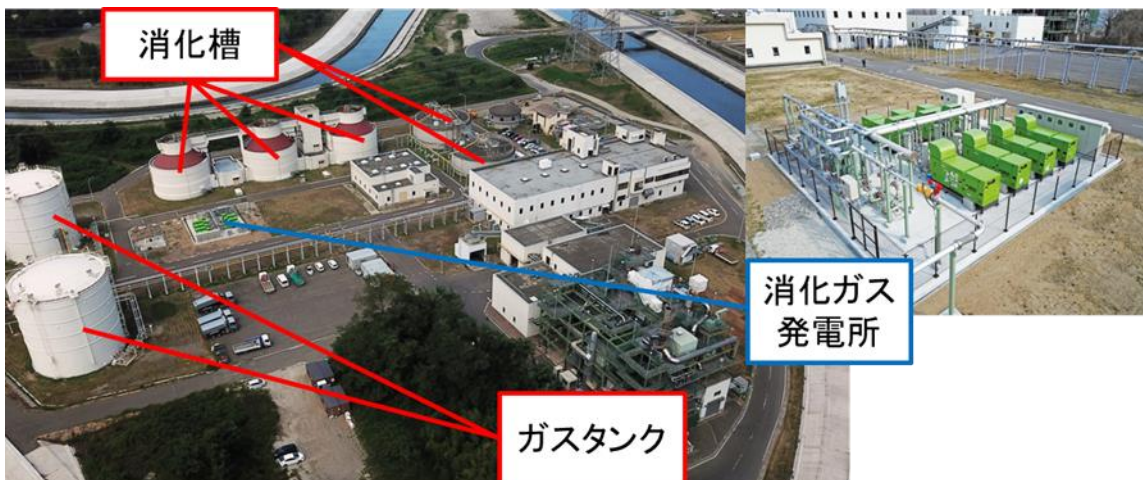
● 仙塩浄化センター消化ガス発電所

仙塩浄化センターの下水汚泥処理工程から発生する「消化ガス（メタンガスと二酸化炭素を主成分とする可燃性ガス）」のうち、約70%は焼却炉や消化槽加温用ボイラーの燃料として活用していたが、残る30%については未利用のまま焼却処分していました。

この未利用資源を有効活用するため余剰の消化ガスを発電事業者へ売却し、事業者が発電した電気を固定価格買取制度（FIT）を活用して売電しています。

また、発電に伴い発生する熱を温水として回収し、汚泥処理に活用しています。

- ・事業主体 (株)大原鉄工所 (民設民営 FIT)
- ・事業場所 仙塩浄化センター内 (多賀城市大代)
- ・発電出力 350 kW (50 kW×7台)
- ・発電電力量 約200万 kWh/年 (一般家庭約440世帯分に相当)
- ・年間土地賃借料 560,920円
- ・消化ガス売却収入 約4億円 (20年間)
- ・工事着工 平成29年6月1日
- ・稼働開始 平成30年4月1日
- ・事業期間 発電開始から20年間



(2) 阿武隈川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、住宅団地開発による人口の増加や工場立地等に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、5市6町（仙台市・白石市・名取市・角田市・岩沼市・蔵王町・大河原町・村田町・柴田町・丸森町・亘理町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和49年度に流域下水道として事業着手し、昭和60年1月に一部供用を開始しました。平成29年度末の処理区域人口は304.8千人、下水道処理人口普及率は81.0%に達しています。

● 平成31年度の業務予定量

関連市町村数	5市6町
年間処理汚水量	31,641,000 m ³
日平均処理汚水量	86,451 m ³

● 阿武隈川下流流域計画一覧表（平成30年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	126,169ha		
処理面積	11,121.8ha	10,237.8ha	8,520.1ha
処理人口	291,312人	297,494人	304,848人
処理能力	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日
系列数	4.5	4.5	4.5
管渠延長	106,865m	90,310m	90,344m
ポンプ場	7箇所	6箇所	6箇所
計画目標年度	平成47年度	平成37年度	-

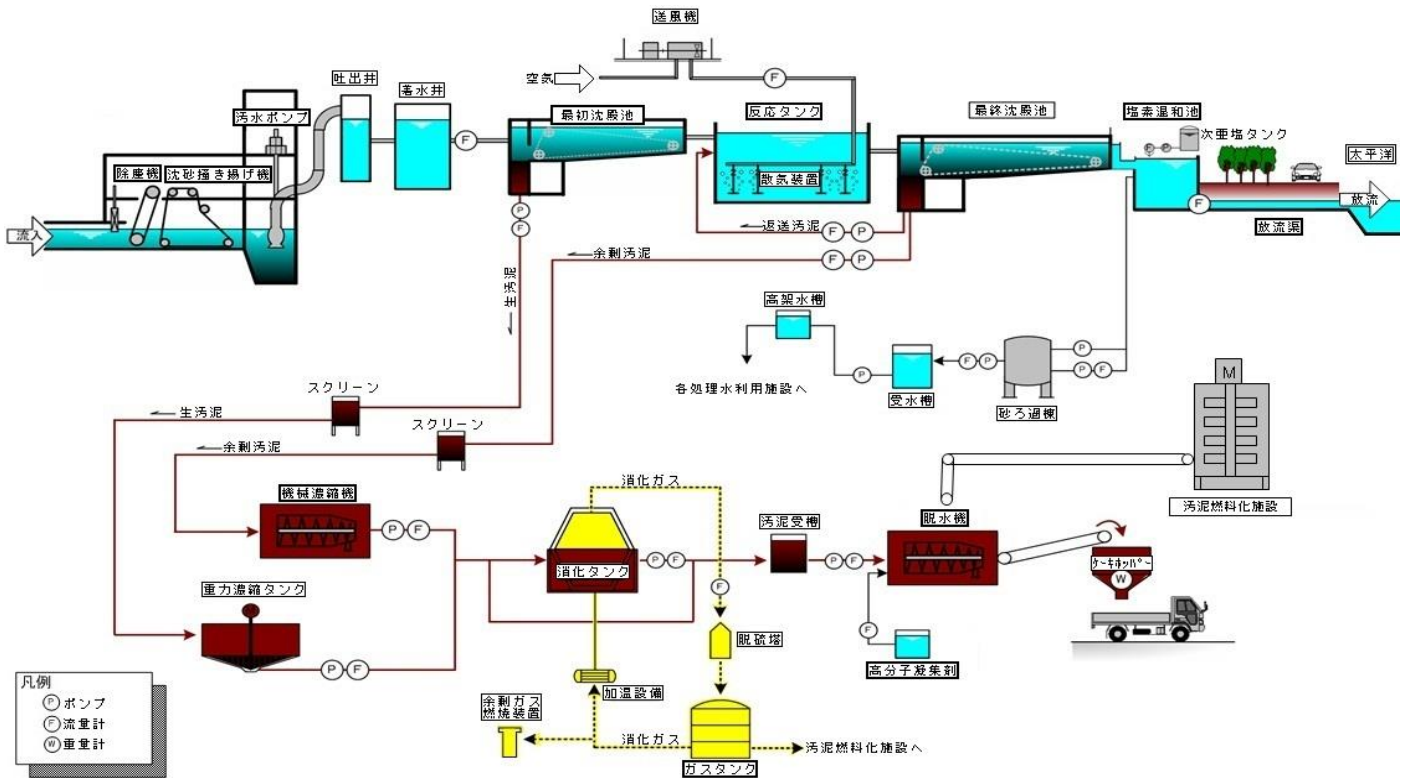
● 関連市町日平均汚水流入量（平成29年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	16,559	大河原町	4,936
白石市	7,511	村田町	1,981
名取市	21,931	柴田町	9,776
角田市	3,969	丸森町	1,128
岩沼市	12,676	亘理町	6,246
蔵王町	1,584	合計	88,309

● 沿革及び認可関係（平成30年3月31日現在）

事業着手年度	昭和49年度
供用開始年月日	昭和60年1月1日
当初認可取得年月日	昭和50年3月31日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	平成38年3月31日

■ 県南浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成 29 年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建設改良費	国庫補助金	59,012,023
	起 債	16,197,812
	他会計繰入金	3,152,843
	市町分担金	19,254,231
	そ の 他	0
	合 計	97,616,909

③ 施設の概要

施設名	阿武隈川下流域下水道事業	
	県南浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	第2水処理電気室	1 棟
	沈砂池	2 池
	導水渠	φ 600×1
		φ 1,200×1
	最初沈殿池	11,546 m ³
	反応タンク	42,842 m ³
	最終沈殿池	21,179 m ³
	塩素混和池	1,362 m ³
	放流渠	φ 1,500×1
		φ 1,100×1
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	機械濃縮棟	1 棟
	汚泥消化タンク	3 槽
	消化汚泥加温棟	1 棟
	脱水機棟	2 棟
	汚泥乾燥炉	1 基
ポンプ場	亘理ポンプ場	
	角田ポンプ場	
	名取ポンプ場	
	大河原ポンプ場	
	仙台ポンプ場	
	丸森ポンプ場	

④ 経営の状況

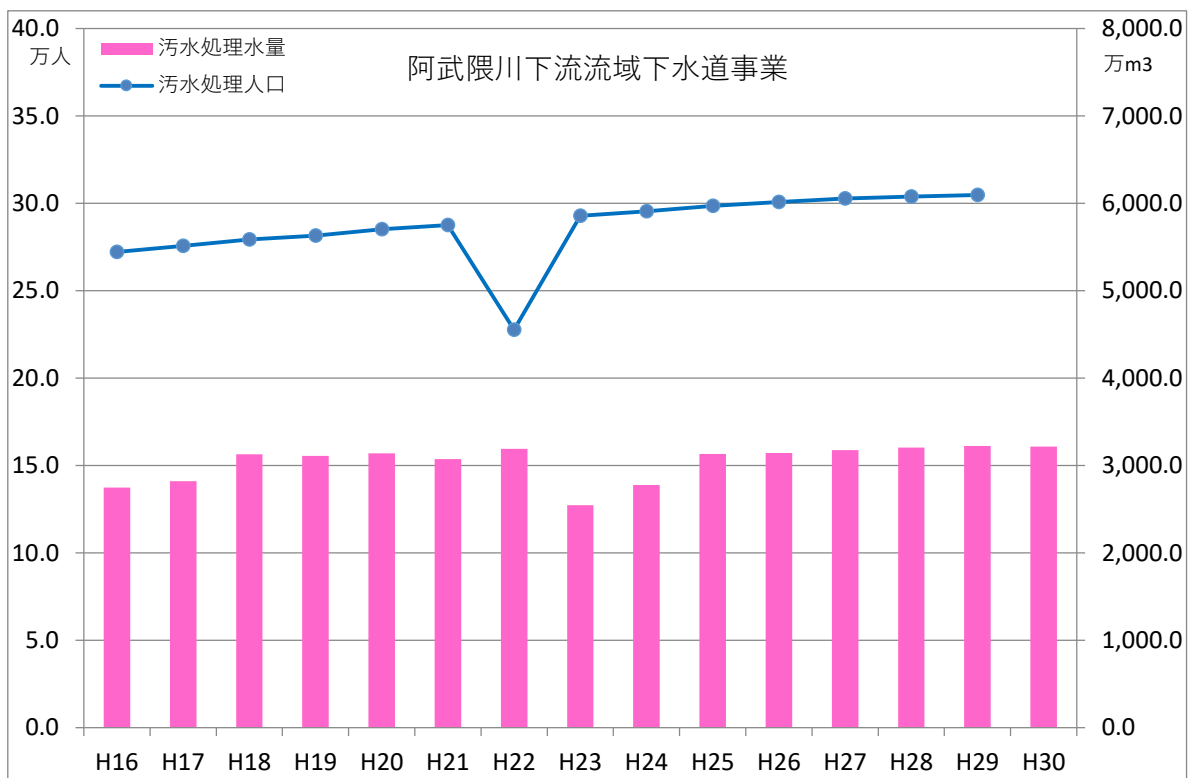
● 処理量等

年 度	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
A 施設能力 m ³ /日	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
B 処理人口 人	302,896	303,851	304,816	集計中	-
C 処理水量 m ³ /年	31,750,996	32,072,058	32,244,164	32,154,896	31,641,000
D 有収水量 m ³ /年	31,750,996	32,072,058	32,244,164	32,154,896	31,641,000
E 1日平均処理量 m ³	86,989	87,869	88,341	88,096	86,688
F 1日最大処理量 m ³	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
G 管渠費 千円	-	-	-	-	54,072
H ポンプ場費 千円	-	-	-	-	160,929
I 処理場費 千円	-	-	-	-	1,270,974

※ 消費税を含む。H31は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H30 汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 27	H 28	H 29	H30	H31
負担金 千円	1,374,818	1,500,972	1,509,027	1,504,849	1,534,588
負担金単価 円/m ³	43.9	47.4	47.4	47.4	48.5
汚水処理原価 円/m ³	43.9	47.4	47.4	47.4	48.5
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	43.3	46.8	46.8	46.8	48.5
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.6	0.6	0.6	0.6	

※ 消費税を含む。H27～H30は決算ベース，H31は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，H31から資本費を維持管理費に含めて算定。

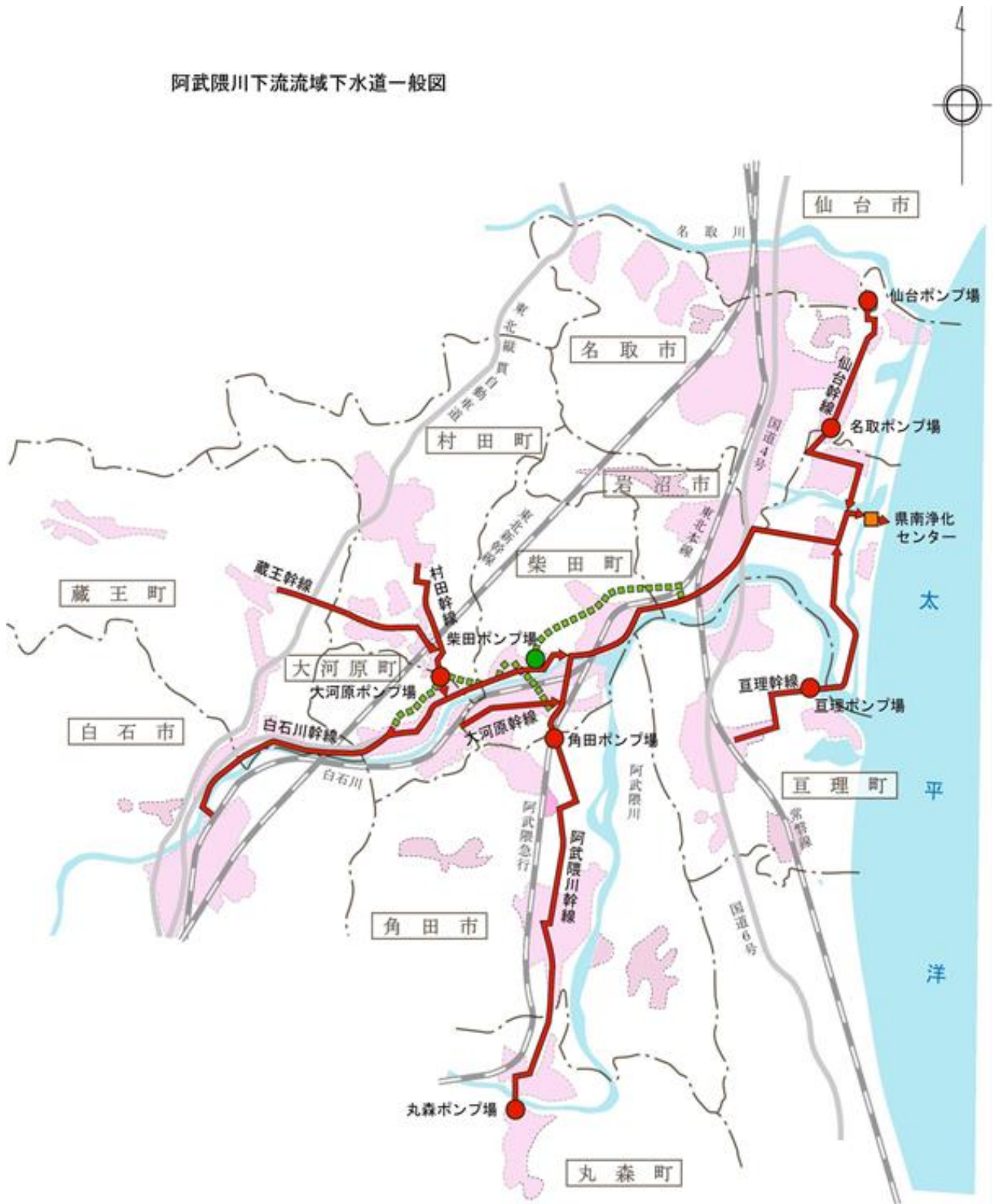
● 収支状況

年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	-	1,534,588
	Vうち料金収入 千円	-	-	-	-	1,534,588
	営業外収益 千円	-	-	-	-	3,241,073
	特別収益 千円	-	-	-	-	0
	計 千円	-	-	-	-	4,775,661
支 出	営業費用 千円	-	-	-	-	4,491,304
	営業外費用 千円	-	-	-	-	106,931
	特別損失 千円	-	-	-	-	21,099
	W総費用(除受託) 千円	-	-	-	-	4,620,022
	計 千円	-	-	-	-	4,620,022
当年度純利益 千円		-	-	-	-	155,639

※ 消費税を含む。H31 は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30 は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

阿武隈川下流域下水道一般図



凡 例	
	全体計画処理区域
	処 理 場
	流域下水道幹線 (既設)
	流域下水道幹線 (計画)
	ポンプ場 (既設)
	ポンプ場 (計画)

(3) 鳴瀬川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、1市1町（大崎市・美里町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和56年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は、21.1kmが整備され、平成29年度末の処理区域人口は、27千人、下水道処理人口普及率は53.4%に達しています。

● 平成31年度の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	2,450,000 m ³
日平均処理汚水量	6,694 m ³

● 鳴瀬川流域計画一覧表（平成30年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	16,439ha		
処理面積	1,569.93ha	1,388.49ha	1,043.0ha
処理人口	29,650人	29,650人	27,026人
処理能力	11,100 m ³ /日	11,100 m ³ /日	8,800 m ³ /日
系列数	6	6	5
管渠延長	21,130m	21,130m	21,130m
ポンプ場	5箇所	5箇所	5箇所
計画目標年度	平成47年度	平成37年度	-

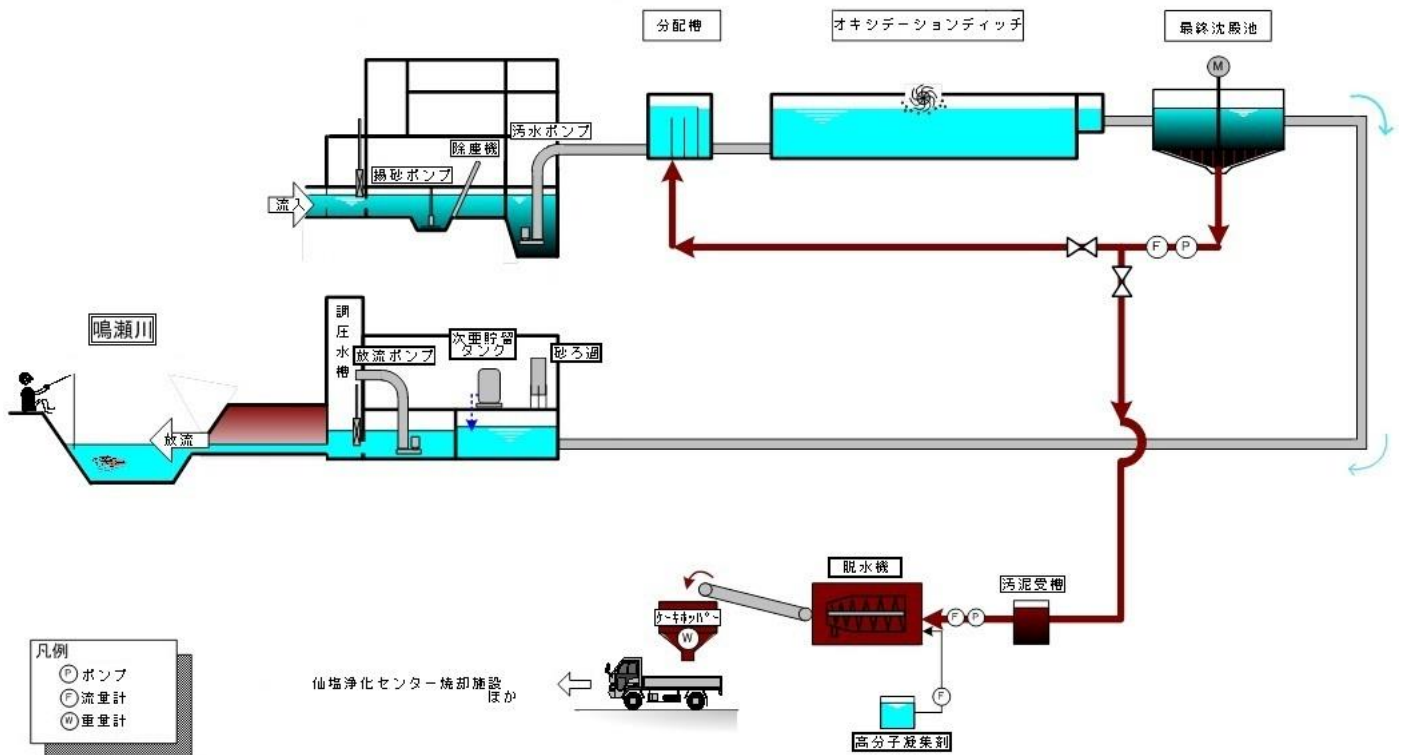
● 関連市町日平均汚水流入量（平成29年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量
大崎市	4,477
美里町	2,100
合計	6,577

● 沿革及び認可関係（平成30年3月31日現在）

事業着手年度	昭和56年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	昭和57年3月2日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	平成38年3月31日

■ 鹿島台浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成 29 年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建 設 改 良 費	国庫補助金	10,233,809
	起 債	2,553,600
	他会計繰入金	517,415
	市町分担金	5,348,357
	そ の 他	0
	合 計	18,653,181

③ 施設の概要

施設名	鳴瀬川流域下水道事業	
	鹿島台浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	沈砂池	5.1 m ³ (1 池)
	反応タンク	8,788 m ³
	最終沈殿池	8,800 m ³
汚泥処理施設	汚泥処理棟	1 棟
ポンプ場	松山第 1 中継ポンプ場	
	松山第 2 中継ポンプ場	
	鹿島台中継ポンプ場	
	小牛田ポンプ場	
	三本木ポンプ場	

④ 経営の状況

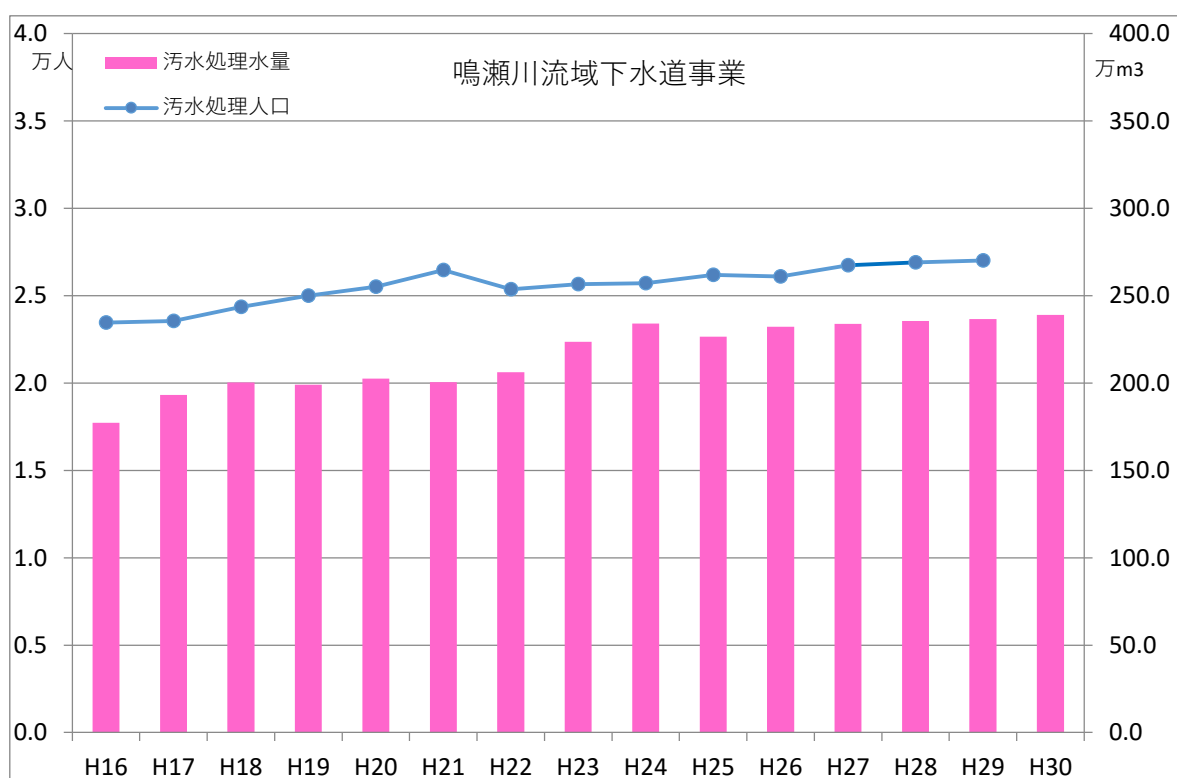
● 処理量等

年 度	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
A 施設能力 m ³ /日	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
B 処理人口 人	26,750	26,903	27,026	集計中	-
C 処理水量 m ³ /年	2,338,988	2,355,806	2,365,724	2,390,616	2,450,000
D 有効水量 m ³ /年	2,338,988	2,355,806	2,365,724	2,390,616	2,450,000
E 1日平均処理量 m ³	6,402	6,455	6,482	6,550	6,713
F 1日最大処理量 m ³	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
G 管渠費 千円	-	-	-	-	13,751
H ポンプ場費 千円	-	-	-	-	34,503
I 処理場費 千円	-	-	-	-	167,773

※ 消費税を含む。H31は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H30 汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 27	H 28	H 29	H30	H31
負担金 千円	236,472	238,172	239,175	241,691	198,695
負担金単価 円/m ³	101.9	101.9	101.9	101.9	81.1
汚水処理原価 円/m ³	101.9	101.9	101.9	101.9	81.1
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	101.1	101.1	101.1	101.1	81.1
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.8	0.8	0.8	0.8	

※ 消費税を含む。H27～H30は決算ベース，H31は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，H31から資本費を維持管理費に含めて算定。

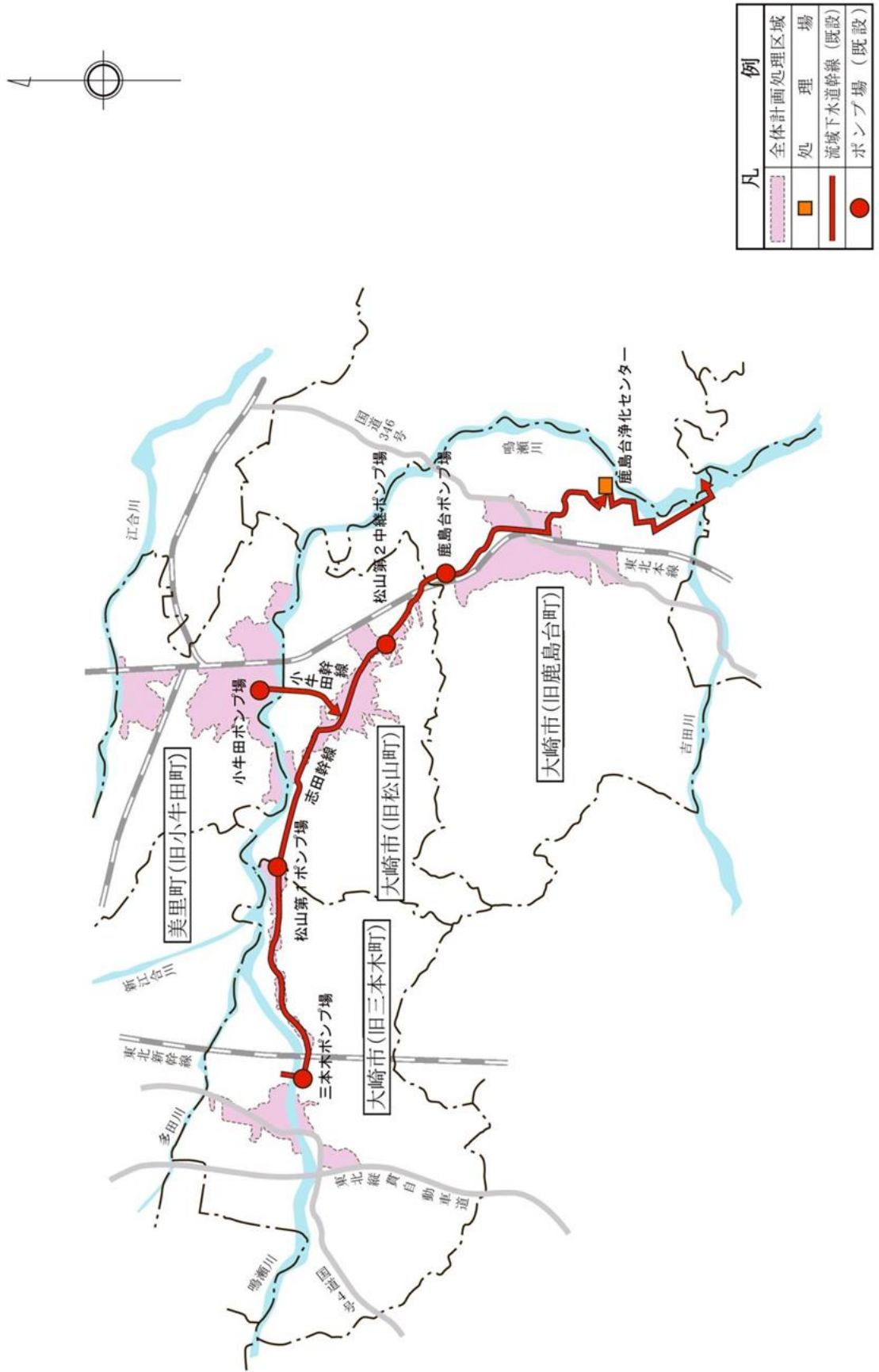
● 収支状況

年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	-	198,695
	Vうち料金収入 千円	-	-	-	-	198,695
	営業外収益 千円	-	-	-	-	582,716
	特別収益 千円	-	-	-	-	0
	計 千円	-	-	-	-	781,411
支 出	営業費用 千円	-	-	-	-	674,388
	営業外費用 千円	-	-	-	-	50,465
	特別損失 千円	-	-	-	-	606
	W総費用(除受託) 千円	-	-	-	-	725,721
	計 千円	-	-	-	-	725,721
当年度純利益 千円		-	-	-	-	55,690

※ 消費税を含む。H31 は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30 は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

鳴瀬川流域下水道一般図



(4) 吉田川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台北部中核都市建設が進む黒川郡を対象に、人口増加や工場立地に伴う水質悪化防止等を目的とし、1市2町1村（富谷市・大和町・大郷町・大衡村）から流入する汚水を処理するものです。

昭和63年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。平成29年度末の処理区域人口は、80千人、下水道処理人口普及率は87.0%に達しています。

● 平成31年度の業務予定量

関連市町村数	1市2町1村
年間処理汚水量	10,857,000 m ³
日平均処理汚水量	29,664 m ³

● 吉田川流域計画一覧表（平成30年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	41,693ha		
処理面積	4,330.0ha	3,349.9ha	3,033.3ha
処理人口	84,655人	81,573人	80,066人
処理能力	54,800 m ³ /日	54,800 m ³ /日	41,825 m ³ /日
系列数	5	5	3.5
管渠延長	28,340m	28,340m	28,340m
ポンプ場	4箇所	4箇所	4箇所
計画目標年度	平成47年度	平成37年度	-

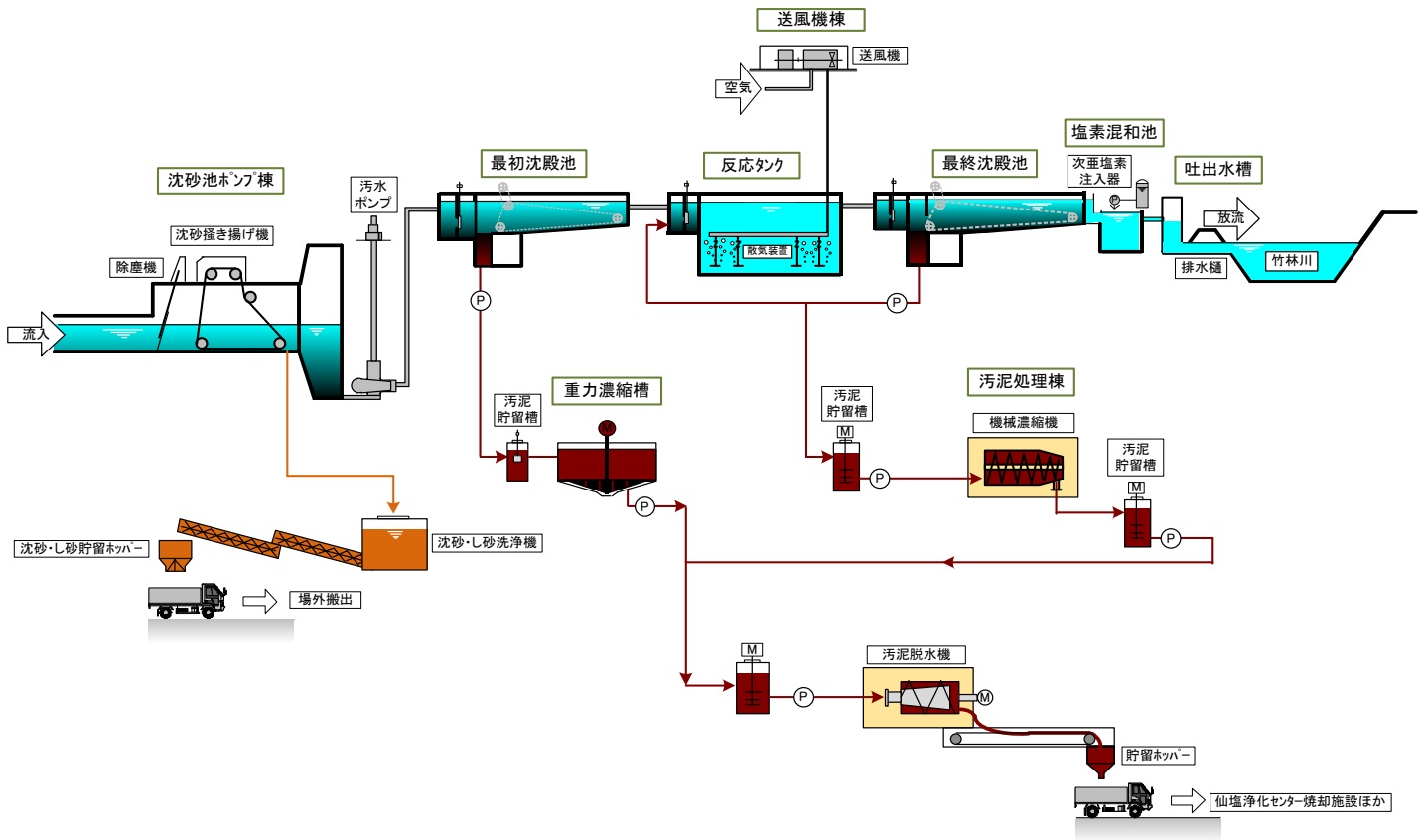
● 関連市町日平均汚水流入量（平成29年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
富谷市	15,129	大衡村	2,270
大和町	11,349	合計	30,023
大郷町	1,274		

● 沿革及び認可関係（平成30年3月31日現在）

事業着手年度	昭和63年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	平成1年2月21日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	平成38年3月31日

■ 大和浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成 29 年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建 設 改 良 費	国庫補助金	18,741,454
	起 債	3,519,750
	他会計繰入金	2,500,186
	市町分担金	5,630,611
	そ の 他	0
	合 計	30,392,001

③ 施設の概要

施設名	吉田川流域下水道事業	
	大和浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	電気棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	脱臭機棟	1 棟
	流入ゲート室	1 棟
	沈砂池	26.68 m ³ (2 池)
	最初沈殿池	3,510 m ³
	反応タンク	14,154 m ³
	最終沈殿池	4,914 m ³
	塩素混和池	574 m ³
汚泥処理施設	汚泥処理棟	1 棟
	重力濃縮棟	1 棟
	重力濃縮施設	3 槽
ポンプ場	海老沢ポンプ場	
	大和・富谷ポンプ場	
	大郷ポンプ場	
	大和・大衡ポンプ場	

④ 経営の状況

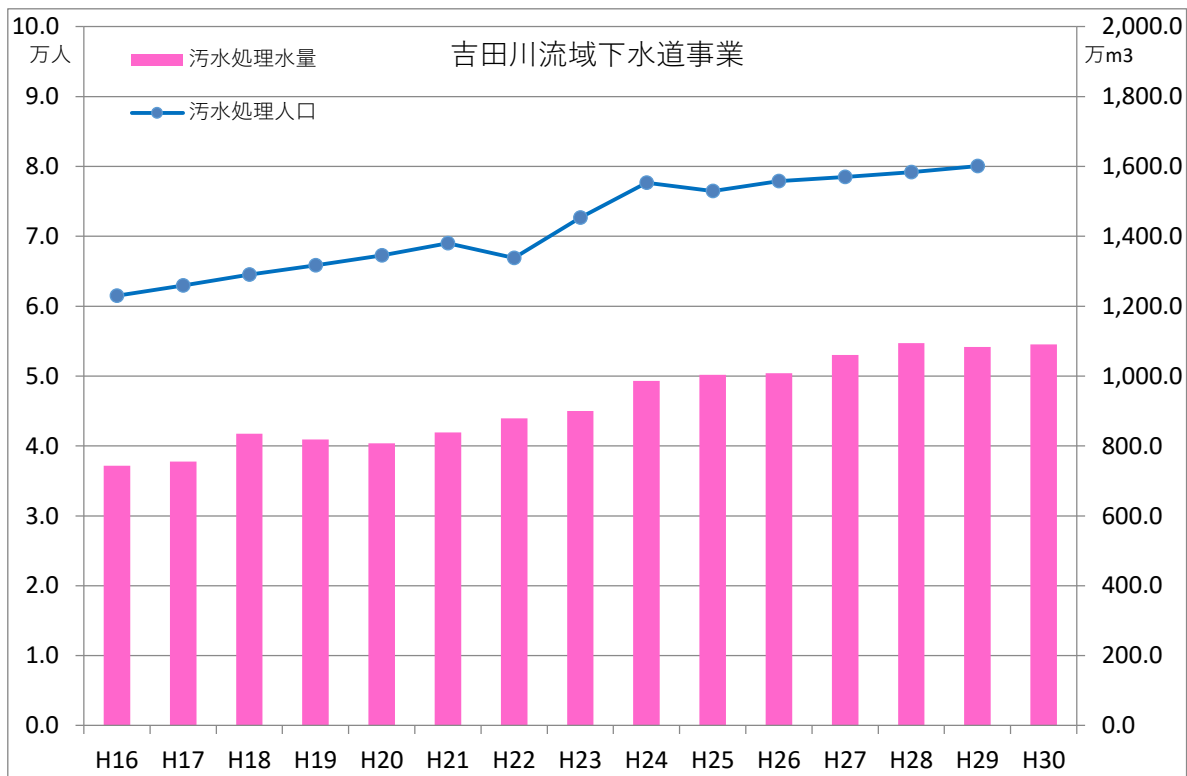
● 処理量等

年 度	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
A 施設能力 m ³ /日	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
B 処理人口 人	78,412	79,180	80,066	集計中	-
C 処理水量 m ³ /年	10,601,832	10,946,637	10,835,712	10,906,349	10,857,000
D 有収水量 m ³ /年	10,601,832	10,946,637	10,835,712	10,906,349	10,857,000
E 1日平均処理量 m ³	29,047	29,991	29,687	29,881	29,746
F 1日最大処理量 m ³	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
G 管渠費 千円	-	-	-	-	13,999
H ポンプ場費 千円	-	-	-	-	37,454
I 処理場費 千円	-	-	-	-	519,973

※ 消費税を含む。H31は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H30 汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 27	H 28	H 29	H30	H31
負担金 千円	571,439	590,024	584,045	587,852	518,964
負担金単価 円/m ³	54.4	54.4	54.4	54.4	47.8
汚水処理原価 円/m ³	54.4	54.4	54.4	54.4	47.8
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	53.9	53.9	53.9	53.9	47.8
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.5	0.5	0.5	0.5	

※ 消費税を含む。H27～H30は決算ベース，H31は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，H31から資本費を維持管理費に含めて算定。

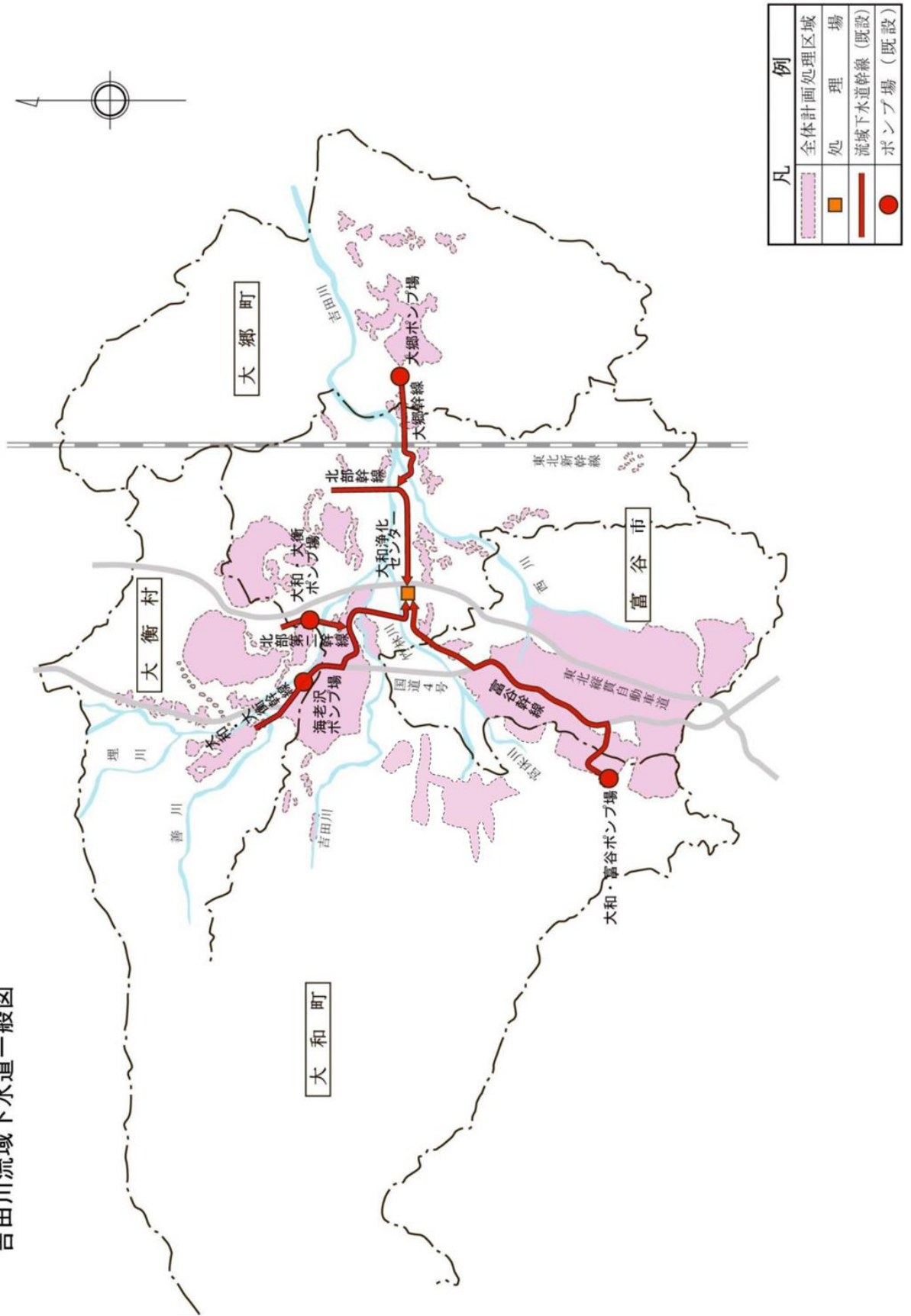
● 収支状況

年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	-	518,964
	Vうち料金収入 千円	-	-	-	-	518,964
	営業外収益 千円	-	-	-	-	903,166
	特別収益 千円	-	-	-	-	0
	計 千円	-	-	-	-	1,422,080
支 出	営業費用 千円	-	-	-	-	1,302,090
	営業外費用 千円	-	-	-	-	38,259
	特別損失 千円	-	-	-	-	16,883
	W総費用(除受託) 千円	-	-	-	-	1,357,742
	計 千円	-	-	-	-	1,357,742
当年度純利益 千円		-	-	-	-	64,338

※ 消費税を含む。H31 は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30 は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

吉田川流域下水道一般図



(5) 北上川下流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川西側に位置する2市（石巻市・東松島市）から流入する汚水を処理するものです。

平成3年度に事業に着手し、平成10年度に一部供用を開始しました。現在の管渠は、27.5kmが整備され、平成29年度末の処理区域人口は、89千人、下水道処理人口普及率は68.6%となっています。

● 平成31年度の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	7,047,000 m ³
日平均処理汚水量	19,254 m ³

● 流域計画一覧表（平成30年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	19,876ha		
処理面積	3,554.3ha	2,934.1ha	2,201.4ha
処理人口	104,600人	104,490人	89,453人
処理能力	48,500 m ³ /日	39,350 m ³ /日	29,100 m ³ /日
系列数	3	2	1.5
管渠延長	27,560m	27,560m	27,560m
ポンプ場	3箇所	3箇所	3箇所
計画目標年度	平成47年度	平成32年度	-

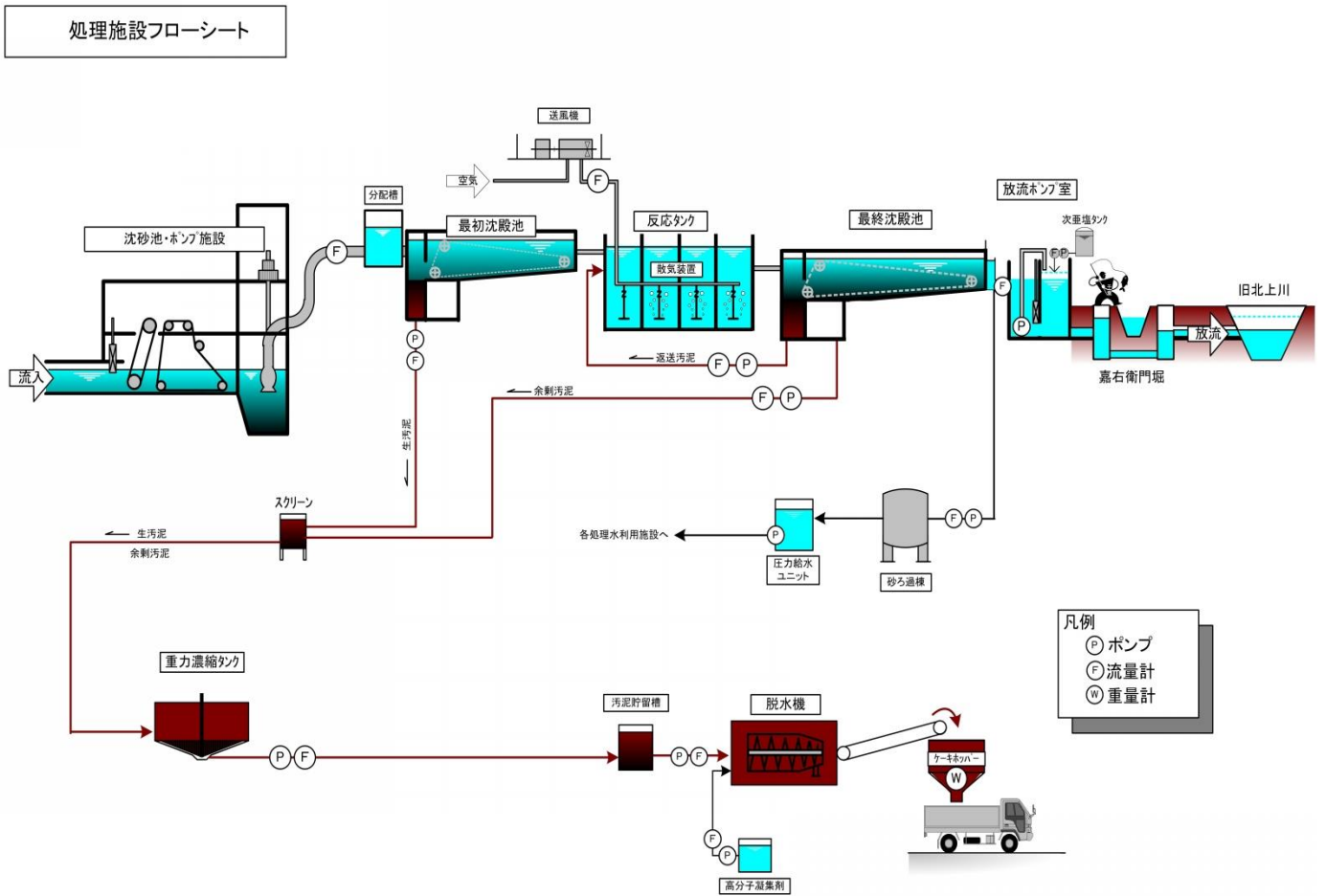
● 関連市町日平均汚水流入量（平成29年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量
石巻市	12,577
東松島市	7,827
合計	20,404

● 沿革及び認可関係（平成30年3月31日現在）

事業着手年度	平成3年度
供用開始年月日	平成10年4月1日
当初認可取得年月日	平成4年4月13日
最終変更認可年月日	平成27年3月24日
認可完了予定年月日	平成33年3月31日

■ 石巻浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成 29 年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建 設 改 良 費	国庫補助金	18,996,940
	起 債	6,504,445
	他会計繰入金	1,101,912
	市町分担金	7,585,468
	そ の 他	0
	合 計	34,188,765

③ 施設の概要

施設名	北上川下流流域下水道事業	
	石巻浄化センター	
水処理施設	管理本館 1 棟 沈砂池ポンプ棟 1 棟 水処理施設, 電気室 1 棟 脱臭機室, 砂ろ過棟 1 棟 放流ポンプ棟 1 棟 沈砂池 巾 1.4m×長 11.5m×4 池 最初沈殿池 1760 m ³ 反応タンク 9,945 m ³ 最終沈殿池 4,617 m ³	
汚泥処理施設	汚泥処理棟 1 棟 重力濃縮機棟 1 棟	
ポンプ場	河南ポンプ場 鳴瀬ポンプ場 矢本ポンプ場	

④ 経営の状況

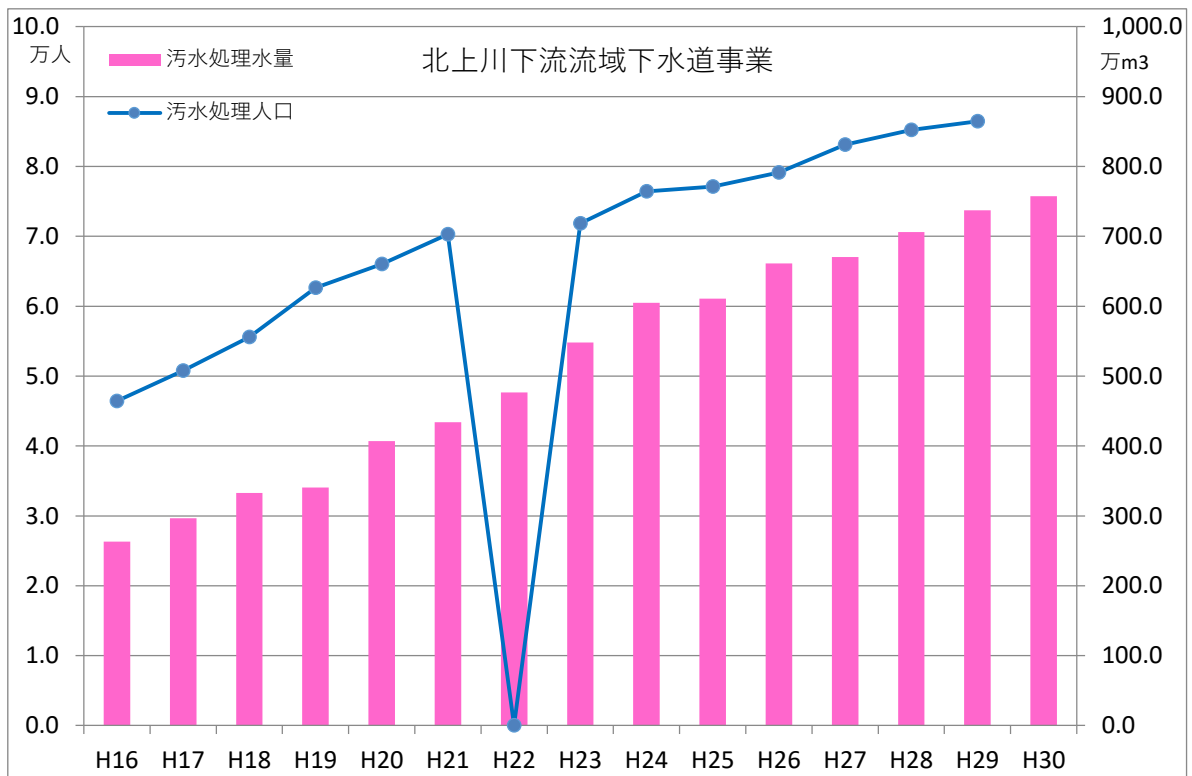
● 処理量等

年 度	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
A 施設能力 $m^3/日$	29,100	29,100	29,100	29,100	29,100
B 処理人口 人	83,110	85,246	86,453	集計中	-
C 処理水量 $m^3/年$	6,704,658	7,062,330	7,373,079	7,574,069	7,047,000
D 有収水量 $m^3/年$	6,704,658	7,062,330	7,373,079	7,574,069	7,047,000
E 1日平均処理量 m^3	18,369	19,349	20,200	20,751	19,307
F 1日最大処理量 m^3	29,100	29,100	29,100	29,100	29,100
G 管渠費 千円	-	-	-	-	21,046
H ポンプ場費 千円	-	-	-	-	10,101
I 処理場費 千円	-	-	-	-	476,301

※ 消費税を含む。H31は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

※ H30汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 27	H 28	H 29	H30	H31
負担金 千円	429,769	452,695	472,614	485,497	565,874
負担金単価 $円/m^3$	65.2	65.2	65.2	65.2	80.3
汚水処理原価 $円/m^3$	65.2	65.2	65.2	65.2	80.3
汚水処理原価 (維持管理費) $円/m^3$	64.1	64.1	64.1	64.1	80.3
汚水処理原価 (資本費) $円/m^3$	1.1	1.1	1.1	1.1	

※ 消費税を含む。H27～H30は決算ベース，H31は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，H31から資本費を維持管理費に含めて算定。

● 収支状況

年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	-	565,874
	Vうち料金収入 千円	-	-	-	-	565,874
	営業外収益 千円	-	-	-	-	998,529
	特別収益 千円	-	-	-	-	0
	計 千円	-	-	-	-	1,564,403
支 出	営業費用 千円	-	-	-	-	1,250,198
	営業外費用 千円	-	-	-	-	87,038
	特別損失 千円	-	-	-	-	70,969
	W総費用(除受託) 千円	-	-	-	-	1,408,562
	計 千円	-	-	-	-	1,408,562
当年度純利益 千円		-	-	-	-	155,841

※ 消費税を含む。H31 は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30 は公営企業会計適用前のため,集計値無し。



(6) 北上川下流東部流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川東側に位置する1市1町（石巻市・女川町）から流入する汚水を処理するものです。

平成8年度に事業着手し、平成12年度に一部供用（旧石巻市公共下水道分）を開始しました。現在の管渠は、43.5kmが整備され、平成29年度末の処理区域人口は、41千人、下水道処理人口普及率は81.7%に達しています。

● 平成31年度の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	4,331,000 m ³
日平均処理汚水量	11,833 m ³

● 北上川下流東部流域計画一覧表（平成30年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	30,969ha		
処理面積	1,855.3ha	1,744.1ha	1,347.8ha
処理人口	38,100人	43,510人	41,708人
処理能力	25,300 m ³ /日	25,300 m ³ /日	25,300 m ³ /日
系列数	3	3	3
管渠延長	43,530m	43,530m	43,530m
ポンプ場	18箇所	18箇所	17箇所
計画目標年度	平成47年度	平成32年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量（平成29年度実績）（単位：m³/日）

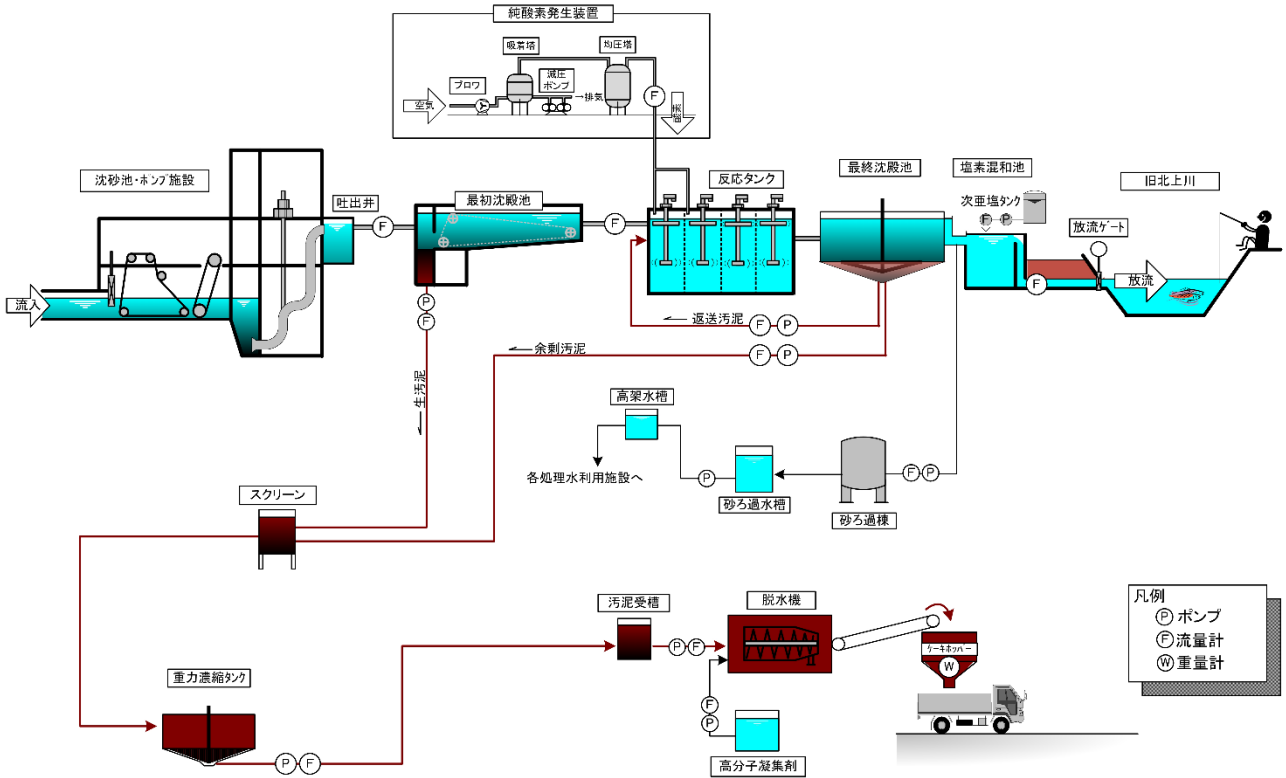
市町村名	汚水量
石巻市	10,011
女川町	1,233
合計	11,244

● 沿革及び認可関係（平成30年3月31日現在）

事業着手年度	平成8年度
供用開始年月日	平成12年4月1日
当初認可取得年月日	平成9年1月29日
最終変更認可年月日	平成27年3月24日
認可完了予定年月日	平成33年3月31日

■ 石巻東部浄化センター処理フロー

6. 処理施設フローシート



② 事業費 (～平成 29 年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過 年 度 実 績 額
建 設 改 良 費	国庫補助金	10,787,463
	起 債	4,504,775
	他会計繰入金	319,461
	市町分担金	4,819,469
	そ の 他	0
	合 計	20,431,168

③ 施設の概要

施設名	北上川下流東部流域下水道事業	
	石巻東部浄化センター	
水処理施設	中央管理棟・沈砂池ポンプ棟	
	水処理棟	1 棟
	最初沈殿池	1 棟
	反応タンク	2, 113 m ³
	最終沈殿池	7, 382 m ³
	砂ろ過棟	6, 477 m ³
	塩素滅菌棟	1 棟
	塩素混和池	1 棟
	ポンプ棟	630 m ³
		1 棟
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	1 槽
	汚泥処理棟	1 棟
ポンプ場	桃生第 1 ポンプ場	
	桃生第 2 ポンプ場	
	桃生第 3 ポンプ場	
	河北第 1 ポンプ場	
	河北第 2 ポンプ場	
	河北第 3 ポンプ場	
	河北第 4 ポンプ場	
	河北第 5 ポンプ場	
	石巻第 1 ポンプ場	
	石巻第 2 ポンプ場	
	石巻第 2-1 ポンプ場	
	石巻第 2-2 ポンプ場	
	女川第 1 ポンプ場	
	女川第 2 ポンプ場	
	石巻第 4 ポンプ場	
	石巻第 5 ポンプ場	
	石巻第 6 ポンプ場	

④ 経営の状況

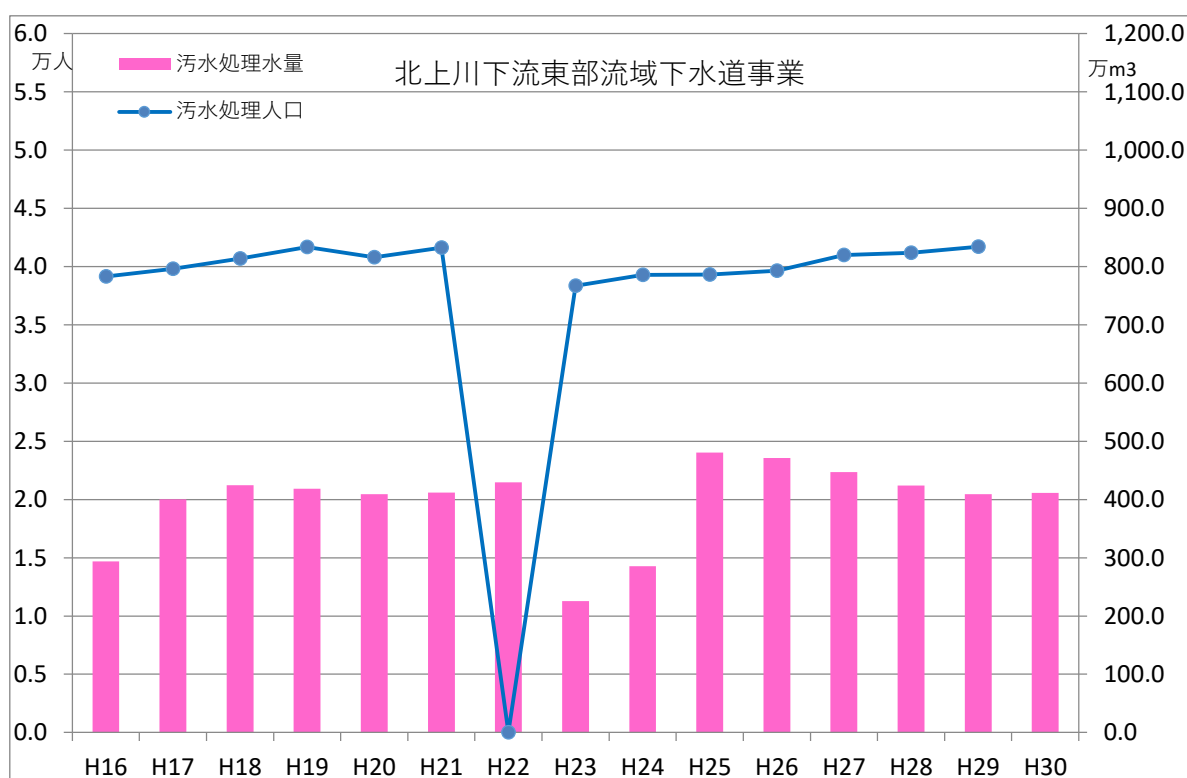
● 処理量等

年 度	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
A 施設能力 m ³ /日	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
B 処理人口 人	41,001	41,180	41,708	集計中	-
C 処理水量 m ³ /年	4,472,265	4,243,122	4,092,685	4,111,417	4,331,000
D 有収水量 m ³ /年	4,472,265	4,243,122	4,092,685	4,111,417	4,331,000
E 1日平均処理量 m ³	12,253	11,625	11,213	11,265	11,866
F 1日最大処理量 m ³	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
G 管渠費 千円	-	-	-	-	14,607
H ポンプ場費 千円	-	-	-	-	78,261
I 処理場費 千円	-	-	-	-	429,497

※ 消費税を含む。H31は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

※ H30 汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 27	H 28	H 29	H30	H31
負担金 千円	437,835	544,393	525,091	527,494	544,839
負担金単価 円/m ³	98.1	130.0	130.0	130.0	125.8
汚水処理原価 円/m ³	98.1	130.0	130.0	130.0	125.8
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	97.9	128.3	128.3	128.3	125.8
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.2	1.7	1.7	1.7	

※ 消費税を含む。H27～H30は決算ベース，H31は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，H31から資本費を維持管理費に含めて算定。

● 収支状況

年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	-	544,839
	Vうち料金収入 千円	-	-	-	-	544,839
	営業外収益 千円	-	-	-	-	1,318,035
	特別収益 千円	-	-	-	-	0
	計 千円	-	-	-	-	1,862,874
支 出	営業費用 千円	-	-	-	-	1,788,546
	営業外費用 千円	-	-	-	-	54,588
	特別損失 千円	-	-	-	-	7,968
	W総費用(除受託) 千円	-	-	-	-	1,851,467
	計 千円	-	-	-	-	1,851,467
当年度純利益 千円		-	-	-	-	11,407

※ 消費税を含む。H31 は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30 は公営企業会計適用前のため、集計値無し。



(7) 迫川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加に伴う、ラムサール条約の指定登録地である伊豆沼をはじめとする公共用水域の水質悪化防止等を目的として、2市（栗原市・登米市）から流入する汚水を処理するものです。

平成5年度に事業着手し、平成12年7月に一部供用を開始しました。現在の管渠は、55.5kmが整備され、平成29年度末の処理区域人口は、29千人、下水道処理人口普及率は43.4%となっています。

● 平成31年度の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	2,391,000 m ³
日平均処理汚水量	6,533 m ³

● 迫川流域計画一覧表（平成30年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	58,239ha		
処理面積	2,186.7ha	1,705.7ha	1,362.6ha
処理人口	24,400人	25,261人	28,563人
処理能力	14,475 m ³ /日	14,475 m ³ /日	9,650 m ³ /日
系列数	3	3	2
管渠延長	55,470m	55,470m	55,470m
ポンプ場	10箇所	10箇所	10箇所
計画目標年度	平成47年度	平成37年度	-

● 関連市日平均汚水流入量（平成29年度実績）（単位：m³/日）

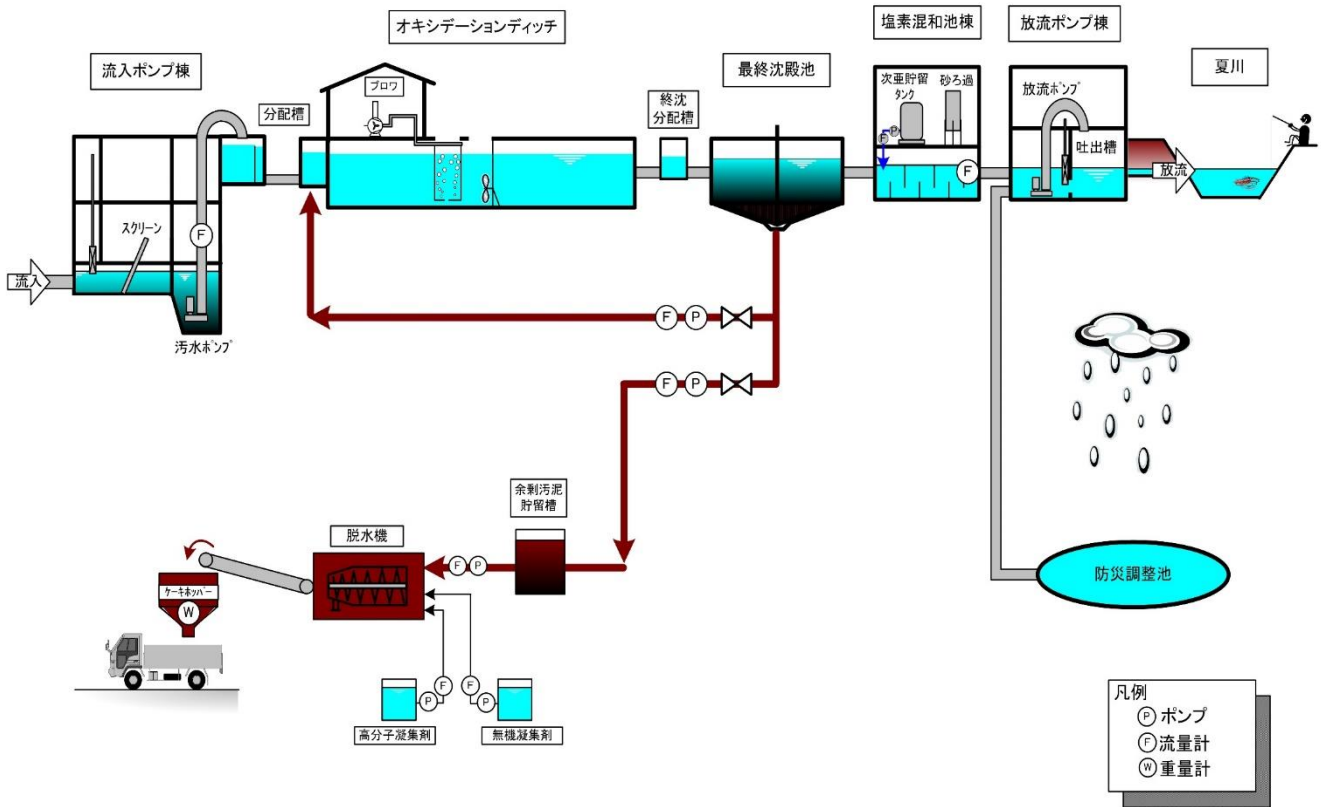
市町村名	汚水量
登米市	752
栗原市	5,294
合計	6,046

● 沿革及び認可関係（平成30年3月31日現在）

事業着手年度	平成5年度
供用開始年月日	平成12年7月1日
当初認可取得年月日	平成5年12月9日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	平成38年3月31日

■ 石越浄化センター処理フロー

処理施設フローシート



② 事業費 (～平成 29 年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過 年 度 実 績 額
建 設 改 良 費	国 庫 補 助 金	17,954,278
	起 債	7,296,740
	他 会 計 繰 入 金	927,899
	市 町 分 担 金	8,001,620
	そ の 他	0
	合 計	34,180,537

③ 施設の概要

施設名	迫川流域下水道事業	
	石越浄化センター	
水処理施設	管理棟 1 棟 流入ポンプ棟 1 棟 オキシデーションディッチ 形状寸法 5.0m 幅×5.0m 深×195.5m 長×2 池 池容量 9,716 m ³ HRT 24.2 時間 最終沈殿池 形状寸法 φ19.7m×有効水深 3m×4 池 水面積負荷 7.91 m ³ /m ² ・日 滞留時間 9.1 時間 越流堰負荷 39.0 m ³ /m・日 最終沈殿池棟 1 棟 塩素混和池棟 1 棟 放流ポンプ棟 1 棟 機械室 水中汚水ポンプ 4.6 m ³ /min×2 台 9.1 m ³ /min×1 台	
汚泥処理施設	汚泥処理棟 1 棟 汚泥脱水設備 遠心脱水 10 m ³ /hr×2 台	
ポンプ場	若柳第 1 ポンプ場 若柳第 2 ポンプ場 若柳第 3 ポンプ場 志波姫ポンプ場 一迫ポンプ場 金成第 1 ポンプ場 金成第 2 ポンプ場 栗駒第 1 ポンプ場 栗駒第 2 ポンプ場 栗駒第 3 ポンプ場	

④ 経営の状況

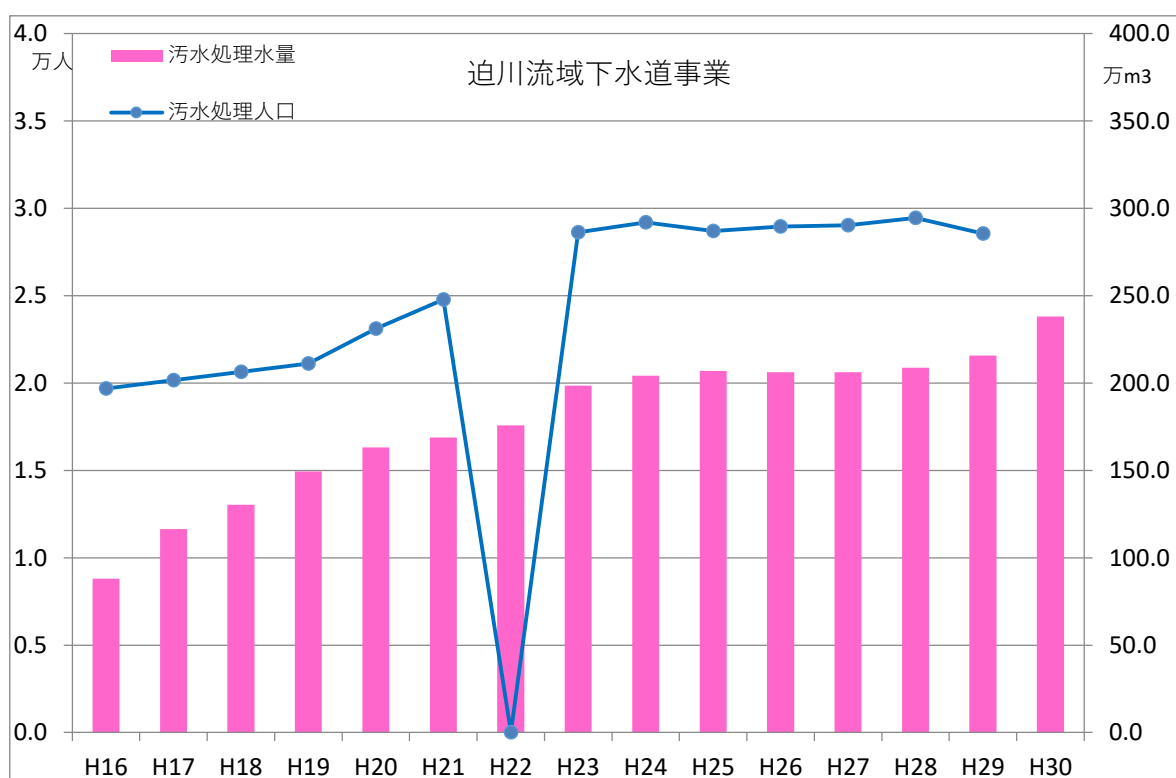
● 処理量等

年 度	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
A 施設能力 m ³ /日	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
B 処理人口 人	29,039	29,446	28,563	集計中	-
C 処理水量 m ³ /年	2,062,649	2,087,536	2,156,842	2,381,171	2,391,000
D 有効水量 m ³ /年	2,062,649	2,087,536	2,156,842	2,381,171	2,391,000
E 1日平均処理量 m ³	5,651	5,720	5,910	6,524	6,550
F 1日最大処理量 m ³	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
G 管渠費 千円	-	-	-	-	11,304
H ポンプ場費 千円	-	-	-	-	57,278
I 処理場費 千円	-	-	-	-	239,971

※ 消費税を含む。H31は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

※ H30汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 27	H 28	H 29	H30	H31
負担金 千円	271,651	274,929	284,056	313,600	317,285
負担金単価 円/m ³	132.7	132.7	132.7	132.7	132.7
汚水処理原価 円/m ³	132.7	132.7	132.7	132.7	132.7
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	131.7	131.7	131.7	131.7	132.7
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	1.0	1.0	1.0	1.0	

※ 消費税を含む。H27～H30は決算ベース，H31は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，H31から資本費を維持管理費に含めて算定。

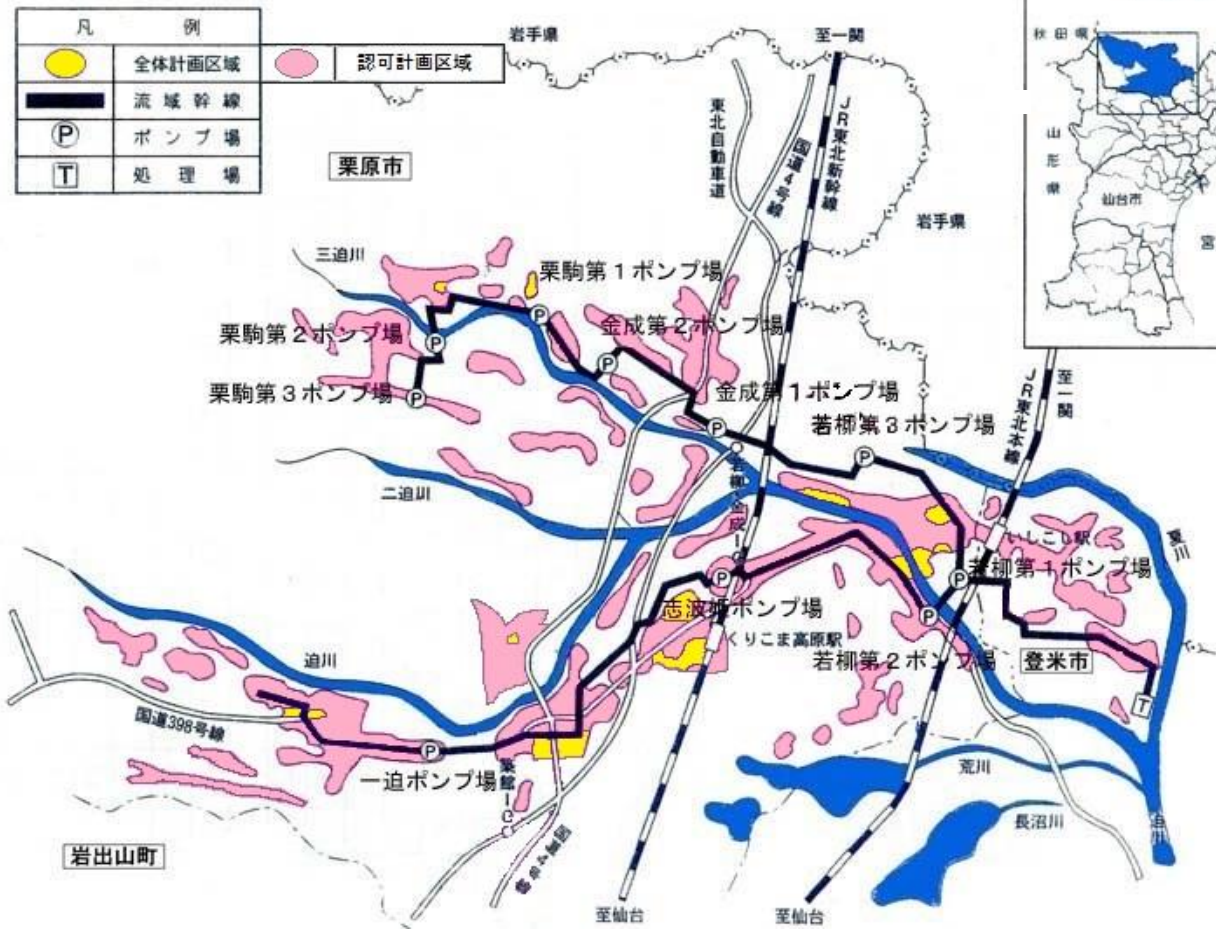
● 収支状況

年 度		H 27	H 28	H 29	H30	H31
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	-	317,285
	Vうち料金収入 千円	-	-	-	-	317,285
	営業外収益 千円	-	-	-	-	1,045,886
	特別収益 千円	-	-	-	-	0
	計 千円	-	-	-	-	1,363,171
支 出	営業費用 千円	-	-	-	-	1,199,824
	営業外費用 千円	-	-	-	-	61,563
	特別損失 千円	-	-	-	-	1,768
	W総費用(除受託) 千円	-	-	-	-	1,263,346
	計 千円	-	-	-	-	1,263,346
当年度純利益 千円		-	-	-	-	99,825

※ 消費税を含む。H31 は当初予算ベースで作成。

※ H27～H30 は公営企業会計適用前のため,集計値無し。

凡 例	
	全体計画区域
	認可計画区域
	流域幹線
	ポンプ場
	処理場





宮城県企業局